

教育要覧 2023

令和5年度

佐野市の教育



佐野市教育委員会

目次

佐野市の概要	1
I 教育委員会の概要	5
1 教育委員	6
2 教育委員会事務局組織・機構図	8
3 事務分掌	9
4 教育予算	13
5 主要な施策	14
II 基本目標・基本理念	19
1 第2次佐野市総合計画 中期基本計画	20
2 佐野市教育大綱	20
3 佐野市教育振興基本計画	22
III 学校管理	25
1 学校施設(設置状況・児童生徒数・学級数)	26
2 小中学校適正配置事業	28
3 学校施設管理・整備・修繕	29
4 スクールバス	30
IV 学校教育	31
1 重点目標	32
2 学校教育指導計画	35
3 指導関係	36
4 教育センター所管事業	40
5 指定学校の変更	47
6 学校と地域の連携	48
7 保護者等に対する支援施策	51
8 学校保健及び安全	54
9 学校給食・食育	57
10 学校部活動の地域移行	62
V 生涯学習・社会教育	65
1 生涯学習	66
2 社会教育	69
3 社会教育関連施設(公民館・図書館・視聴覚ライブラリー・ 作原野外活動施設)	75
4 少年指導センター	81
VI 文化財保護	83
1 文化財保護	84
2 文化財関連施設(博物館・三好館・化石館・伝承館)	90
3 文化財一覧	106

表紙の写真 葛生義務教育学校

葛生義務教育学校は、佐野市で2校目の施設一体型義務教育学校として、令和5年4月に開校しました。旧葛生町の4つの小学校(葛生小・葛生南小・常盤小・氷室小)と2つの中学校(葛生中・常盤中)を統合しました。前期課程(1~6年生)189名、後期課程(7~9年生)110名、合計299名の児童生徒が共に学んでいます。



佐野市の概要



佐野市の概要

佐野市は、関東平野の北端、栃木県の南西部に位置しています。北部から北東部、北西部にかけては、緑豊かな森林や美しい清流など自然環境に恵まれた中山間地域となっており、南部と西部は、住宅や産業基盤が集積する都市的地域と農業が展開する地域となっています。

【恵まれた立地条件と城下町としての面影】

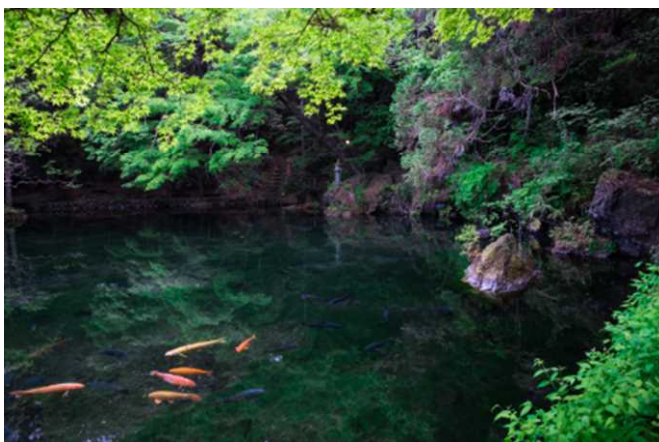
佐野駅から広がる街並みは碁盤の目のように整備され、城下町としての面影を現在も残しています。駅北側にある城山公園は、明治22年9月に佐野城(春日岡城)跡地に開設された歴史ある公園で、桜やツツジの名所として広く市民に親しまれています。

【変わらない「鉱都」の顔とフレスコ画の街】

日本一のドロマイト生産を誇り、恵まれた埋蔵資源を礎として発展を遂げてきました。大規模な採掘により、地層の中に眠っていた多くの動植物の化石が発見されています。また、街の所々には石灰を用いた漆喰壁に描かれたフレスコ画が、街の景観を彩っています。



フレスコ画(葛生伝承館西壁)



出流原弁天池

【美しい自然あふれる環境と歴史の輝き】

市内には、日本名水百選に選ばれた「出流原弁天池湧水」、万葉集にも詠まれ、かたくりの花が群生する「三轟山」、秋山川上流沿いに咲く「ザゼンソウの群生地」、平将門の討伐やムカデ退治伝説で有名な藤原秀郷公が築いたといわれる「唐沢山城」などの自然・歴史・文化的財産が各所にあります。



空から見た佐野市

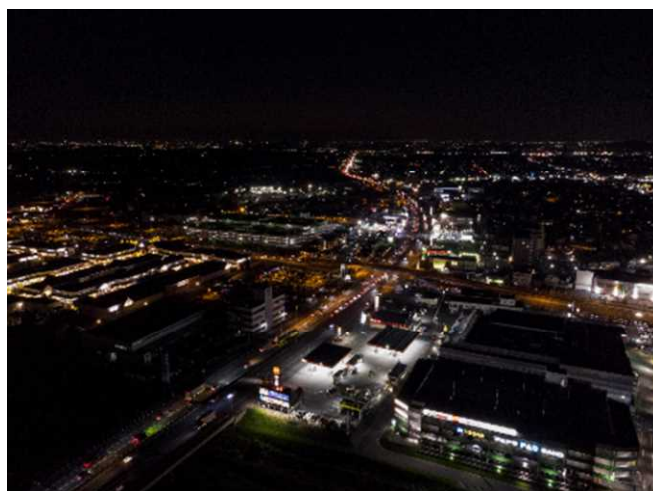
【交通の要衝と新たな商業・工業地区の形成】

東京中心部から70キロ圏内に位置し、市内に4つのインターチェンジ(東北自動車道／佐野藤岡IC・佐野SAスマートIC、北関東自動車道／佐野田沼IC・出流原スマートIC)を有し、その立地条件から、道路交通の要衝としてさらなる発展が期待されています。

市の南東部、国道50号と東北自動車道がクロスする周辺の佐野新都市地区には、佐野プレミアム・アウトレット®

やイオンショッピングセンターなどからなる新しい商業地域が形成され、特に週末には県内はもとより、関東一円から多くの人を訪れています。

また、北関東自動車道佐野田沼IC近くの佐野田沼インター産業団地には佐野インランドポートが整備され、新たな拠点としての可能性が期待されています。



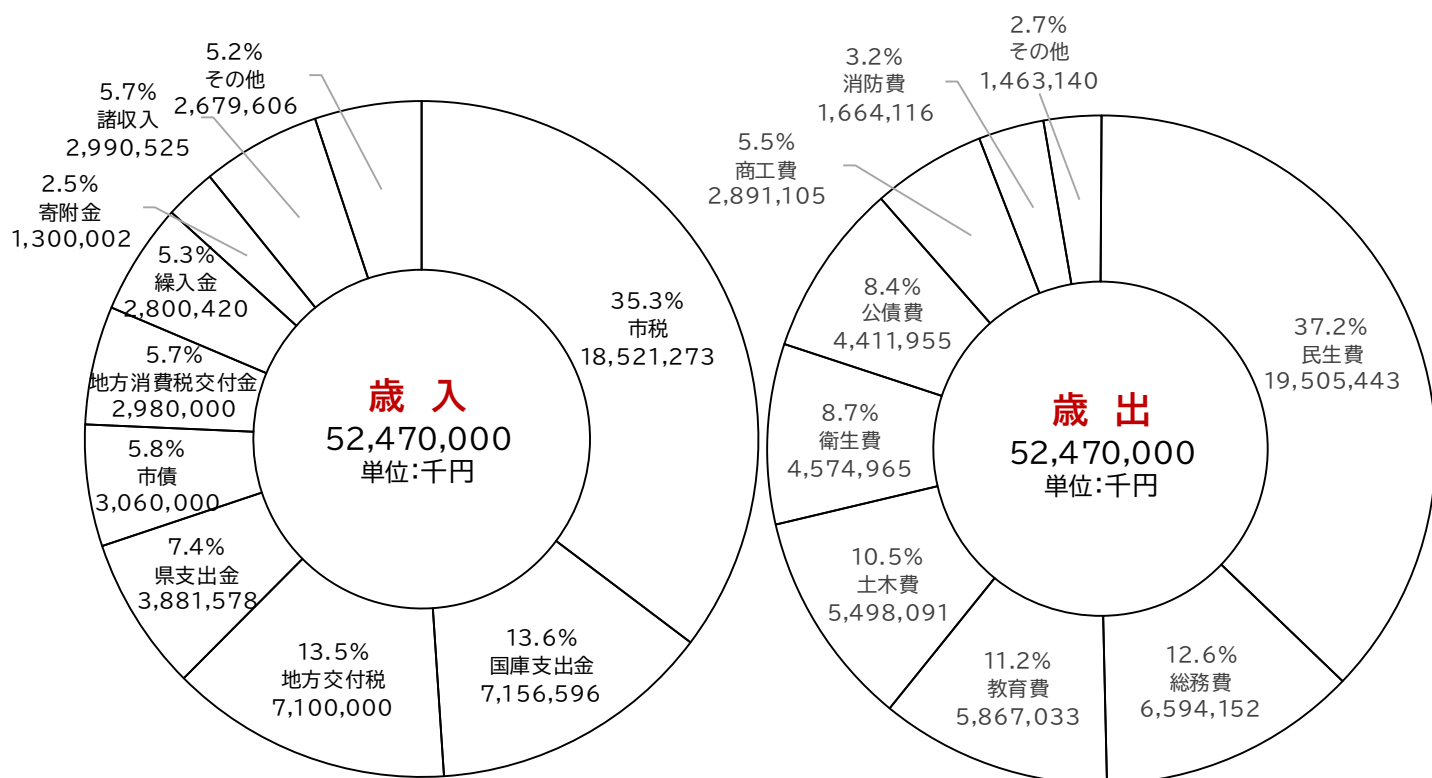
佐野新都市地区の夜景

人口と世帯数 令和5年8月1日現在 住民基本台帳より(外国人住民を含む)

人 口	114,445 人(男性 56,883 人 女性 57,562 人)
世帯数	52,862 世帯

市予算概要

令和5年度一般会計 524億7千万円





I 教育委員会の概要

I 教育委員会の概要

1 教育委員

(1)教育委員

職名	氏名	初就任年月日	現行任期
教育長	津布久 貞夫	令和2年5月19日 (令和2年5月19日教育長就任)	令和5年5月19日 ～令和8年5月18日
委員 (教育長職務代理者)	内田 圭子	平成24年5月19日 (令和5年5月19日委員長職務代理者就任)	令和2年5月19日 ～令和6年5月18日
委員	駒形 忠晴	平成28年4月1日	令和3年5月19日 ～令和7年5月18日
委員	伊藤 弘教	令和2年11月1日	令和4年5月19日 ～令和8年5月18日
委員	茂木 郁夫	令和5年5月19日	令和5年5月19日 ～令和9年5月18日

(2)教育委員会の開催状況

(単位：件)

年度	定例・臨時別	開催回数	議案	報告
平成30	定例会	12	58	14
	臨時会	1	1	—
令和元	定例会	12	75	16
	臨時会	2	4	—
令和2	定例会	12	55	20
	臨時会	1	3	—
令和3	定例会	12	65	18
	臨時会	1	1	—
令和4	定例会	12	74	23
	臨時会	1	1	2

(3)歴代教育委員

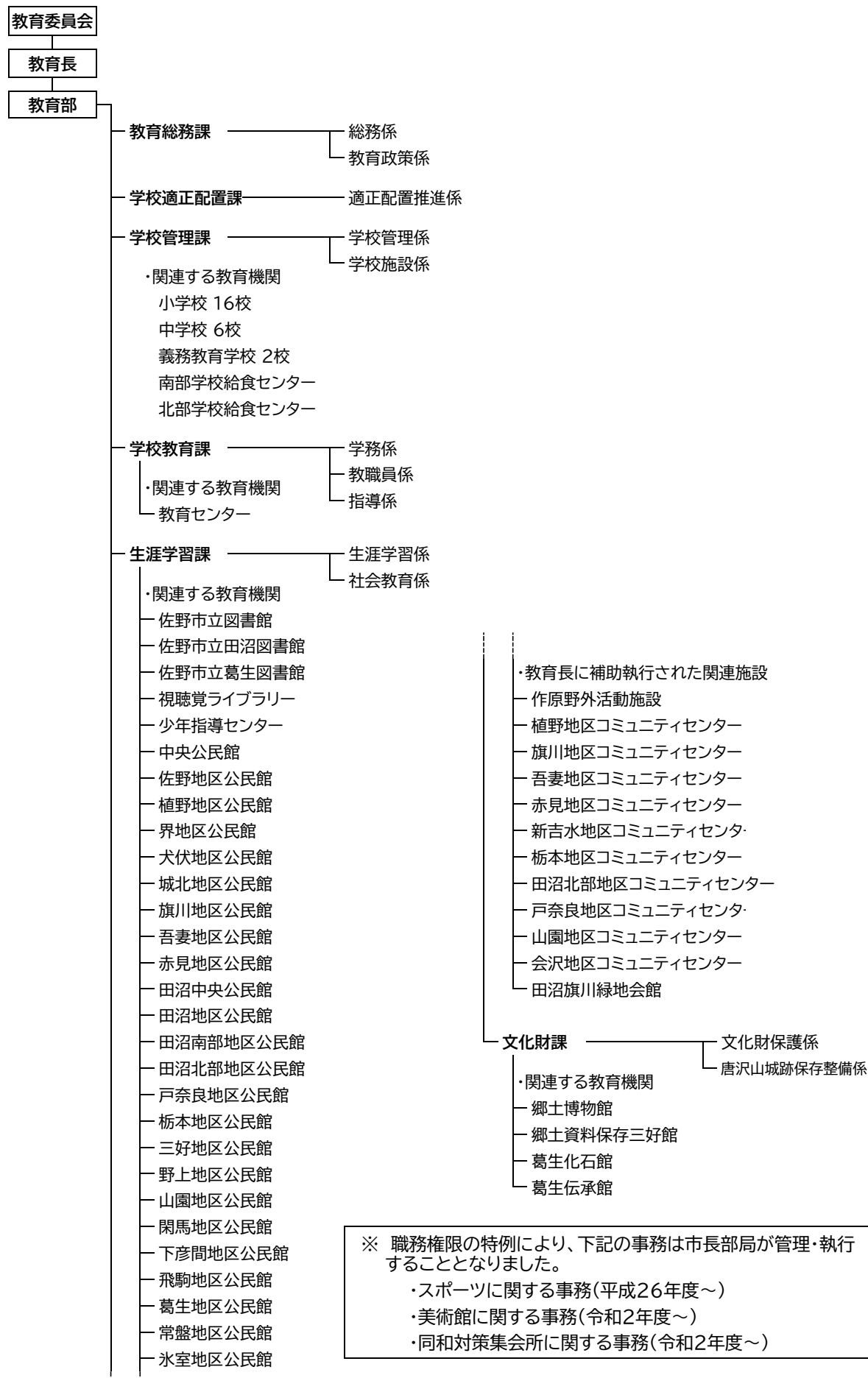
期 間	委員長	委員長 職務代行者	委 員		教育長	備 考
H17.2.28~ H17.5.18	津布久捨三郎	楡井周治	田中和美	長尾宏道	落合一義	合併による 暫定期間
H17.5.19~ H18.5.18	津布久捨三郎	楡井周治	田中和美	長尾宏道	落合一義	
H18.5.19~ H19.5.18	楡井周治	長尾宏道	田中和美	寺岡 篤	落合一義	
H19.5.19~ H23.5.18	寺岡 篤	長尾宏道	田中和美	山崎 晃	落合一義	
H23.5.19~ H24.5.18	寺岡 篤	長尾宏道	田中和美	栗崎卓二	落合一義	
H24.5.19~ H25.5.18	寺岡 篤	長尾宏道	栗崎卓二	内田圭子	落合一義	
H25.5.19~ H28.3.31	寺岡 篤	長尾宏道	栗崎卓二	内田圭子	岩上日出男	教育長就任 H25.5.20~
H28.4.1~ H29.5.18	寺岡 篤	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	岩上日出男	

新教育委員会制度以降

期 間	教育長	教育長 職務代理者	委 員			備 考
H29.5.19~ H30.5.18	岩上日出男	寺岡 篤	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	
H30.5.19~ R2.3.31	岩上日出男	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	笹川敏男	
R2.4.1~ R2.5.18	岩上日出男	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	川副 令	
R2.5.19~ R2.9.30	津布久貞夫	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	川副 令	
R2.10.1~ R2.10.31	津布久貞夫	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	(欠員)	
R2.11.1~ R5.5.18	津布久貞夫	栗崎卓二	内田圭子	駒形忠晴	伊藤弘教	
R5.5.19~ 現在	津布久貞夫	内田圭子	駒形忠晴	伊藤弘教	茂木郁夫	

2 教育委員会事務局組織・機構図

令和5年度 教育委員会事務局組織及び教育機関・補助執行された施設



※ 職務権限の特例により、下記の事務は市長部局が管理・執行することとなりました。

- ・スポーツに関する事務(平成26年度～)
- ・美術館に関する事務(令和2年度～)
- ・同和対策集会所に関する事務(令和2年度～)

3 事務分掌

教育部	
教育総務課	
総務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 佐野市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の議事に関すること。 (2) 教育委員会の秘書に関すること。 (3) 教育委員会所属職員(県費負担教職員を除く。)の任免その他人事に関すること。 (4) 例規の審査、制定及び改廃に関すること。 (5) 教育関係予算の総括調整に関すること。 (6) 栄典及び褒章に関すること。 (7) 育英事業に関すること。 (8) 資格助成事業に関すること。 (9) 文書並びに物品の收受、発送及び用度に関すること。 (10) 公印の保管に関すること。 (11) 事務局内、関係機関との連絡調整及び協議に関すること。 (12) 教育に係る調査及び基幹統計に関すること。 (13) 広報に関すること。 (14) 職員の研修及び福利厚生に関すること。 (15) 寄附の收受に関すること。 (16) 部及び課の庶務に関すること。
教育政策係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育行政の総合的企画に関すること。 (2) 教育行政に係る課題の調査研究(他の所管に属するものを除く。)に関すること。 (3) 教育振興基本計画に関すること。 (4) 通学路の安全対策に関すること。 (5) コミュニティ・スクールに関すること。 (6) 学校評議員に関すること。 (7) 部活動の地域移行に関すること。 (8) 義務教育における公立学校及び私立学校の教育の連携に関すること。 (9) 教育に関する事務の点検及び評価に関すること。 (10) 教育要覧の編集及び公表に関すること。
学校適正配置課	
適正配置推進係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校の適正規模及び適正配置の推進に関すること。 (2) 通学区域の設定及び変更に関すること。
学校管理課	
学校管理係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校予算の配分及び執行管理に関すること。 (2) 教具及び教材の整備に関すること。 (3) 学校給食の計画、調査、研究及び指導に関すること。 (4) 学校給食施設の設置並びに管理及び運営に関すること。 (5) 学校給食職員の研修に関すること。

	<ul style="list-style-type: none"> (6) 学校給食費に関すること。 (7) 課の庶務に関すること。
学校施設係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校施設の設置、管理及び廃止に関すること。 (2) 学校施設の営繕保全の計画及び実施に関すること。 (3) 学校施設の敷地の管理、選定及び変更に関すること。 (4) 学校施設の安全及び環境整備に関すること。 (5) 教育財産の管理に関すること。 (6) スクールバスに関すること。
学校教育課	
学務係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学齢児童及び生徒の就学並びに児童及び生徒の入学、転学、退学に関すること。 (2) 教育支援委員会に関すること。 (3) 児童及び生徒の教育支援に関すること。 (4) 児童及び生徒の医療扶助並びに保健衛生及び学校保健会に関すること。 (5) 日本スポーツ振興センターに関すること。 (6) 教科用図書無償給与に関すること。 (7) 課の庶務に関すること。
教職員係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 県費負担教職員の任免に関すること。 (2) 教職員の組織する団体に関すること。 (3) 学校の組織編制に関すること。 (4) 学校職員の保健衛生に関すること。 (5) 学校職員の服務に関すること。
指導係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導並びに学校経営及び学校教育の指導助言に関すること。 (2) 校長及び教員の研修に関すること。 (3) 副読本その他補助教材の取扱いに関すること。 (4) 学校教育における人権教育に関すること。 (5) 学校安全教育に関すること。 (6) 研究学校に関すること。 (7) 外国語指導助手並びに児童及び生徒の国際理解教育に関すること。 (8) さわやか教育指導員及びさわやか健康指導員等に関すること。 (9) 教科用図書の採択など学校教育の推進に関すること。
生涯学習課	
生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生涯学習の企画及び総合調整に関すること。 (2) 生涯学習推進協議会に関すること。 (3) 生涯学習情報の収集、提供及び調査研究に関すること。 (4) 生涯学習に関連するボランティア団体等の支援に関すること。 (5) 生涯学習の推進に関すること。 (6) 公民館の管理及び運営に関すること。 (7) 公民館運営審議会に関すること。

	<p>(8) 公民館及びコミュニティ施設の営繕保全の計画並びに実施に関する事 と。</p> <p>(9) 公民館の総合計画及び調整に関する事。</p> <p>(10) 地区公民館との連絡調整に関する事。</p> <p>(11) 公民館開催事業の計画及び実施に関する事。</p> <p>(12) コミュニティ活動及び支援に関する事。</p> <p>(13) 公民館の統計及び調査に関する事。</p> <p>(14) 課の庶務に関する事。</p>
社会教育係	<p>(1) 社会教育の企画及び総合調整に関する事。</p> <p>(2) 社会教育委員に関する事。</p> <p>(3) 成人教育及び女性教育に関する事。</p> <p>(4) 青少年の健全育成に関する事。</p> <p>(5) 視聴覚教育に関する事。</p> <p>(6) 家庭教育に関する事。</p> <p>(7) 社会教育指導員に関する事。</p> <p>(8) 作原野外活動施設に関する事。</p> <p>(9) 図書館に関する事。</p> <p>(10) 図書館協議会に関する事。</p> <p>(11) 視聴覚ライブラリーに関する事。</p> <p>(12) 社会教育関係団体の指導助言に関する事。</p> <p>(13) 社会教育の推進に関する事。</p> <p>(14) 社会教育における人権教育に関する事。</p>
文化財課	
文化財保護係	<p>(1) 文化財保護に関する事(他の所管に属するものを除く。)</p> <p>(2) 史跡の保存整備に関する事(他の所管に属するものを除く。)</p> <p>(3) 文化財保護審議会に関する事。</p> <p>(4) 埋蔵文化財に関する事(他の所管に属するものを除く。)</p> <p>(5) 郷土博物館に関する事。</p> <p>(6) 郷土資料保存三好館に関する事。</p> <p>(7) 課の庶務に関する事。</p>
唐沢山城跡保 存整備係	国指定史跡唐沢山城跡の保存整備及び保護に関する事。

教育機関等の事務分掌	
教育センター	<ul style="list-style-type: none"> (1) 教育センター業務の企画運営に関すること。 (2) 教育に係わる調査研究に関すること。 (3) 教育相談に関すること。 (4) 情報教育に関すること。 (5) 特別支援教育に関すること。 (6) 教育情報の提供に関すること。 (7) 教育職員の研修に関すること。 (8) 施設及び設備の維持管理に関すること。 (9) 教育センターの庶務に関すること。
学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> (1) 給食の献立作成、調理、運搬及び栄養指導に関すること。 (2) 給食に要する食品材料の発注及び検収に関すること。 (3) 給食施設の維持管理に関すること。 (4) 給食の生ごみ処理に関すること。 (5) その他給食実施に必要な業務に関すること。
少年指導センター	<ul style="list-style-type: none"> (1) 少年指導センターの運営に関すること。 (2) 少年指導センターの運営協議会に関すること。 (3) 青少年に関する相談及び指導に関すること。 (4) 立入調査及び環境浄化活動に関すること。
各地区公民館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 公民館の管理及び運営に関すること。 (2) 公民館の事業推進に関すること。 (3) 公民館の使用許可に関すること。 (4) 公民館の登録サークルに関すること。 (5) 市民教養講座開催事業に関すること。
葛生化石館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 化石等の収集、保管、調査研究、展示等に関すること。 (3) 化石等に関わる講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 化石等に関わる企画展の開催に関すること。 (5) 博物館協議会に関すること。 (6) 日本博物館協会等の参画に関すること。 (7) 館の庶務に関すること。
葛生伝承館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 郷土芸能に関する資料の収集、保管、調査研究、展示等に関すること。 (3) 郷土芸能に関わる講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 郷土芸能に関わる企画展の開催に関すること。

4 教育予算

(単位:千円)

款 項 目	令和5年度	令和4年度	比 較	令和5年度の財源内訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
10 款 教育費	5,867,033	5,333,179	533,854	700,282	516,300	937,887	3,712,564
1項 教育総務費	1,681,354	1,666,381	14,973	610,115	7,900	251,972	811,367
1目 教育委員会費	2,915	2,787	128	0	0	0	2,915
2目 事務局費	1,607,185	1,556,120	51,065	610,115	0	238,881	758,189
3目 教育センター費	46,063	34,454	11,609	0	7,900	13,091	25,072
4目 小中一貫校建設費	25,191	73,020	△ 47,829	0	0	0	25,191
2項 小学校費	1,044,711	788,184	256,527	39,641	201,100	44,031	759,939
1目 学校管理費	938,942	683,712	255,230	34,411	201,100	24,482	678,949
2目 教育振興費	105,769	104,472	1,297	5,230	0	19,549	80,990
3項 中学校費	607,925	538,341	69,584	10,158	168,800	30,673	398,294
1目 学校管理費	522,972	450,525	72,447	5,175	168,800	11,919	337,078
2目 教育振興費	84,953	87,816	△ 2,863	4,983	0	18,754	61,216
4項 社会教育費	896,946	751,130	145,816	12,868	39,000	45,224	799,854
1目 社会教育総務費	220,969	186,628	34,341	955	0	7,500	212,514
2目 公民館費	322,153	255,356	66,797	5,798	39,000	10,465	266,890
3目 図書館費	180,004	152,899	27,105	0	0	11,599	168,405
4目 博物館費	87,895	82,737	5,158	0	0	10,917	76,978
5目 文化財保護費	31,067	17,669	13,398	6,115	0	12	24,940
6目 少年指導センター費	4,643	4,888	△ 245	0	0	13	4,630
7目 美術館費	50,215	50,953	△ 738	0	0	4,718	45,497
5項 保健体育費	1,636,097	1,589,143	46,954	27,500	99,500	565,987	943,110
1目 保健体育総務費	154,876	358,975	△ 204,099	0	0	13,143	141,733
2目 体育施設費	508,733	243,630	265,103	27,500	99,500	41,998	339,735
3目 学校給食費	972,488	986,538	△ 14,050	0	0	510,846	461,642

5 主要な施策

※小中学校には義務教育学校を含む

科目 款項	事業名	予算額 (千円)	事業等の内容
2款 総務費 ①総務管理費	佐野市奨学金返済 助成事業費	2,000	若者の佐野市内への定住促進を目的に、佐野市に住民登録があり、佐野市奨学金の返還を行っている者で、5年間市内に居住すると誓約した者に対し、返還金の一部を補助金として交付する。 25,000円×80人
10款 教育費 ①教育総務費	資格試験等受験料 助成事業費	2,650	佐野市に住民登録がある大学等の学生または生徒の能力向上を図り、就業機会の拡大を目的として、資格試験等の受験料の全額を補助金として交付する。
	奨学資金貸付事業 費	56,160	専門学校、大学等の進学予定者または在学者で経済的理由により就学が困難な学生に対して、正規の修業期間に限り奨学金を貸与する。 既貸付者分 61人 令和5年度新規分 30人
	コミュニティ・スク ール推進事業費	715	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を順次導入し、地域と共にある学校づくりを推進する。
	公私教育連絡協議 会運営事業費	130	公私教育連絡協議会を設置し、公立・私立学校の連携を図り、相互研鑽のための研修等を行うことで、本市教育を充実させる。
	通学路安全対策事 業費	1,003	交通安全・防犯・防災の観点から危険箇所の点検を実施し、通学路の安全対策を講じる。
	部活動地域移行推 進事業費(新規)	6,692	中学校の部活動指導を地域へ移行させていくため、地域指導員による指導を段階的に導入する。
	部活動地域移行推 進協議会運営事業 費(新規)	3,708	中学校の部活動指導を段階的に地域へ移行させていくため、部活動地域移行推進協議会を設置し、課題を検討する。
	小中学校適正配置 推進事業費	2,495	小中学校の適正規模化・適正配置化を推進する。
	キャリア教育推進事 業費	600	児童生徒が企業を訪問したり、企業の社員等が教育支援者として学校を訪問したりする期間を設けることを通してキャリア教育を推進する。
	小中一貫教育推進 事業費	2,236	中学校区を基本とする小中一貫教育推進ブロックで実施する小中一貫教育を支援するため、学校教育指導員1名を配置し、その充実を図る。
	佐野日本大学短期 大学英語教育連携 事業費	2,000	佐野日本大学短期大学の外国人教員等を講師とした専門的な研修や学習会を通して、市内小中学校教員の資質の向上を図る。
	ランカスター市中学 生相互交流事業費	1,400	姉妹都市アメリカ合衆国ランカスター市に中学生を派遣し、交流を行う。

科目 款項	事業名	予算額 (千円)	事業等の内容
①教育総務費	さわやか教育指導員配置事業費	112,085	心の教育推進のために、小中学校に「さわやか教育指導員」を配置し、児童生徒に対する教育相談や活動の支援を通して健全な心の育成を図る。 小学校42名、中学校13名 計55名
	さわやか健康指導員配置事業費	15,604	心の教育推進のために、小中学校に「さわやか健康指導員」を配置し、保健教育活動の充実を図る。 小中学校 計8名
	特別支援学級支援員配置事業費	7,803	特別支援教育推進のために、小中学校の特別支援学級に「特別支援学級支援員」を配置し、学習や生活の面で特別な支援を必要とする児童生徒に対し支援を行い、特別支援教育の充実を図る。 小中学校 計4名
	外国青年英語指導助手指導事業費	54,765	姉妹都市ランカスター市やJETプログラム及び国内在住の外国青年を英語指導助手として任用し、英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進を図る。 JETプログラム2名、主任1名、国内任用10名
	特別非常勤講師配置事業費	1,142	特色ある学校づくりを推進するために、希望する学校に特別非常勤講師を配置し、児童生徒の知識を深めたり、技能を向上させたり、さらには社会性などの豊かな人間性を身に付けさせたりする。
	教職員の指導力向上事業費	110	教職員に求められる専門職としての資質・能力、確かな力量、優れた人間力などを身に付け、特色ある教育、心の教育が実践できる人材を育成するため、教職員研修を実施する。
	心の教室相談員活用事業費	780	市立学校2校に心の教室相談員をそれぞれ1名配置し、悩み等をもつ児童生徒・保護者が気軽に相談できる体制を整備する。
	教育相談事業費	6,823	幼児及び児童生徒の心身の健全な育成を図るため、相談員が教育上の問題や悩みに関する教育相談を実施し、問題解決への援助を行う。
	アクティブ教室運営事業費	4,795	不登校児童生徒が社会自立の基礎となる力を身につけることを目指し、個々に応じた指導・支援を行う「アクティブ教室」を運営する。
	教育センター空調設備等改修事業費(新規)	8,019	教育センターの空調設備等の改修を行う。
	佐野西中学校区小中一貫校整備事業費	25,191	佐野西中学校区小中一貫校整備のための調査等
②小学校費	小学校校舎屋根外壁改修事業費	139,590	犬伏小学校 校舎屋根外壁防水改修工事
	小学校屋内運動場改修事業費(新規)	75,570	城北小学校 屋内運動場屋根防水等改修工事

科目 款項	事業名	予算額 (千円)	事業等の内容
	小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業費(新規)	28,650	市立小学校等における感染症対策を行う。
	子どもの郷土愛醸成事業(新規)	4,400	子どもたちが自ら地域の情報を調査、発表などを行うワークショップを実施し、まとめたものを社会体験アプリ「ごっこランド」内の地元ガイドブック「ジモトガイド」により発信する。ワークショップに参加していない市内の子どもたちには「ジモトガイド」から地域の魅力に触れさせ、郷土愛の醸成を図る。また、アプリから市外の児童及び保護者へ発信させることにより、本市のシティプロモーションにも寄与する。
③中学校費	中学校校舎屋根外壁改修事業費	121,000	南中学校 校舎屋根外壁防水改修工事
	中学校屋内運動場改修事業費	59,950	赤見中学校 屋内運動場屋根防水改修工事
	中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業費(新規)	13,950	市立中学校等における感染症対策を行う。
④社会教育費	楽習出前講座開催事業費	76	市民の自主的な学習機会を確保し、学習成果の活用機会を提供
	放課後子ども教室推進事業費	1,795	運営委員会議、小学校区による放課後子ども教室の実施
	地域学校協働活動推進事業費	683	学校支援ボランティア保険料、交流研修会の開催、地域コーディネーター養成研修会開催、地域学校協働本部(学校地域応援団)の支援
	青少年活動育成促進事業費	71	中学・高校・義務教育学校生を対象としたボランティア研修会の開催
	佐野・芦屋青少年交流事業費	850	親善都市である福岡県芦屋町との交流 時期:夏休み期間中(2泊3日及び事前研修) 会場:芦屋町 対象:芦屋町・佐野市の小・中・義務教育学校生
	子ども会ジュニアリーダー研修会開催事業費	30	小学校及び義務教育学校5～6年生を対象としたジュニアリーダー研修会の開催
	各地区公民館トイレ洋式化等事業費(新規)	31,270	・植野地区公民館 トイレ洋式化等工事 ・吾妻地区公民館 トイレ洋式化及び多目的トイレ設置工事 ・赤見地区公民館 トイレ洋式化工事
	各地区公民館空調設備等改修事業費(新規)	8,877	・犬伏・城北地区公民館空調設備改修に伴うコスト比較及び実施設計 ・葛生文化センター空調設備改修工事及び消防用設備等交換修繕市民各層に生涯学習の機会を提供するため、各種講座を開催
	市民大学開設事業費	269	市民各層に生涯学習の機会を提供するため、各種講座を開催

科目 款項	事業名	予算額 (千円)	事業等の内容
④社会教育費	葛生化石館講座等 開設事業費	193	化石採集教室、化石磨き体験教室等の開催
	葛生伝承館企画展 等開設事業費	252	郷土の民俗、伝統工芸等の企画展の開催
	天明鋳物生産用具 国指定推進事業費 (新規)	7,716	天明鋳物生産用具国重要有形民俗文化財への指定に向けた資料の記録化が概ね終了したため、栃木県立博物館に移設をし適切な保管を図った上で令和5年度に文化庁との調整や手続きを行う。
	佐野市遺跡地図作 成事業費	5,114	佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲について、現地踏査・確認を行い、市域全体をカバーする遺跡地図を作成する。
	唐沢山城跡保存整 備事業費	13,988	唐沢山城跡保存活用計画や同整備計画に基づき、史跡唐沢山城跡保存整備調査指導委員会の指導の下、石垣カルテの作成や史跡内の樹木伐採業務委託を実施する。
⑤保健体育費	学校給食物価高騰 対策事業費(新規)	24,346	原油価格・物価高騰による学校給食の食材費の価格上昇分について、その上昇分を予算措置することで従来通りの学校給食を提供する。
	学校給食センター調 理・配送等業務委託 事業費	246,976	学校給食の調理・配送・配膳業務について、業務委託により実施する。
	学校給食アレルギー 対策事業費	20	「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」の運用検証のための、学校給食食物アレルギー対策委員会等の開催
	北部学校給食センタ ー喫食用食器更新 事業費(新規)	16,724	学校給食で使用するお椀(ボール)、仕切り皿の更新



根古屋森林公園



唐沢山



唐澤山神社



II 基本目標・基本理念

Ⅱ 基本目標・基本理念

1 第2次佐野市総合計画 中期基本計画

基本目標4 「豊かな心を育み、学び合うまちづくり」

- 生涯にわたって学び続け、自己を高めていくことができる生涯学習環境の充実
- 生涯スポーツ活動を行うことができる環境づくり
- 「社会を生き抜く力」の育成を重視した幼児教育・学校教育の充実
- 次代を担う青少年の健全育成

政策1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり	
(1) 特色ある教育と心の教育の推進	(2) 安全で安心して学べる教育環境の整備
①生きる力の育成	①安全で快適な学校施設の整備
②教育力の向上	②小中一貫校の推進
③小中一貫教育の推進	③地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
④特別支援教育の推進	④教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充
政策2 地域とともに学び育てるまちづくり	
(1) 生活を豊かにする生涯学習の推進	(2) 教育を支える地域づくりの推進
①学習情報及び場の提供	①いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携
②学習成果を活かす取組	②家庭教育支援の推進
③青少年の健全育成	③地域の教育力を活かす取組

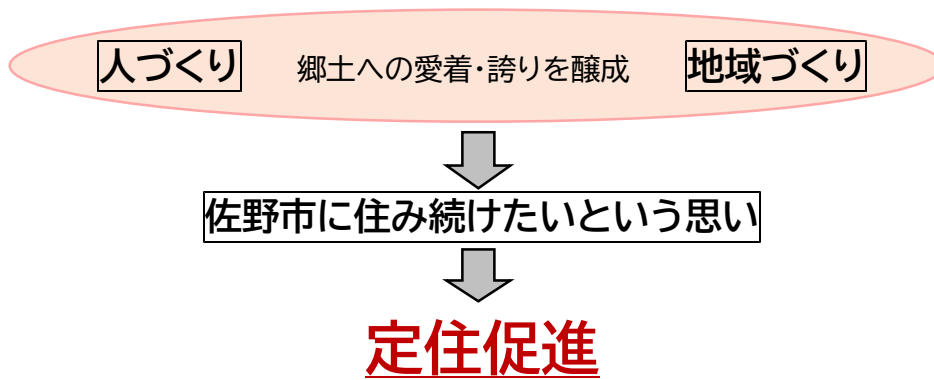
2 佐野市教育大綱

1 計画期間

令和4(2022)年度から令和7(2025)年度

2 推進テーマ

第2次佐野市総合計画の推進テーマ「**定住促進**」は、全ての施策に共通するものであることから、教育大綱においても推進テーマとして位置付けます。第2次佐野市総合計画中期基本計画におけるまちづくりの基本理念「**進化する佐野市 選ばれる佐野市**」は、基本目標を具現化し政策と結びつけ、全施策に共通するものであることから、大綱においても位置づけることとします。



「人づくり」「地域づくり」に関する取組を、学校教育及び地域における様々な教育の場において推進することにより、「定住促進」へつなげていきます。

3 基本方針

基本方針1 特色ある教育と心の教育を推進します
<ul style="list-style-type: none"> ①生きる力の育成 ②教育力の向上 ③小中一貫教育の推進 ④特別支援教育の推進
基本方針2 安全で安心して学べる教育環境を整備します
<ul style="list-style-type: none"> ①安全で快適な学校施設の整備 ②小中一貫校の推進 ③地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実 ④教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充
基本方針3 生活を豊かにする生涯学習を推進します
<ul style="list-style-type: none"> ①学習情報及び場の提供 ②学習成果を活かす取組 ③青少年の健全育成
基本方針4 教育を支える地域づくりを推進します
<ul style="list-style-type: none"> ①いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携 ②家庭教育支援の推進 ③地域の教育力を活かす取組
基本方針5 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備を図ります
<ul style="list-style-type: none"> ①生涯スポーツの推進 ②競技スポーツの推進 ③スポーツ施設の整備と運営
基本方針6 文化芸術活動を推進します
<ul style="list-style-type: none"> ①文化芸術に触れる機会の充実 ②文化資源の有効活用 ③文化芸術施設の基盤強化

基本方針7 歴史・文化資源を保存し継承します

- ①歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
- ②歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進

3 佐野市教育振興基本計画

教育分野における本市の目指すべき姿と進むべき方向性をより具体的に定め、中長期的視点に立った本市の教育への考え方や施策等の進め方を明らかにし振興を図るため、「佐野市教育振興基本計画」を策定しました。

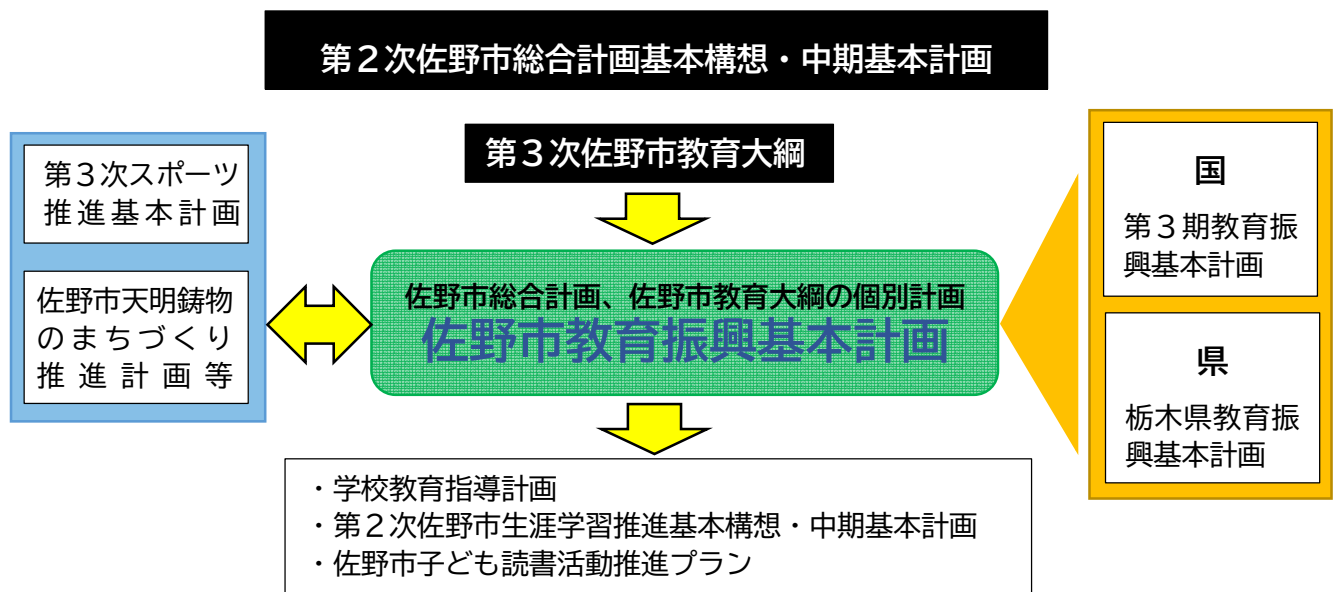
1 計画期間

令和4(2022)年度から令和7(2025)年度

2 基本理念

「豊かな学びを通して ふるさとを愛し 持続可能な社会の創り手を育む佐野市の教育」

3 計画の位置付け



基本理念

豊かな学びで ふるさとを愛し 持続可能な社会の創り手を育む佐野市の教育

基本理念を構成する3つのキーワード

キーワード1 「豊かな学び」とは

本市の考える「豊かな学び」
「学びの内容、方法、環境、機会」が充実し、生涯の各段階の学びが関連し、つながりながら展開される学び

資質・能力の向上
心の豊かさ
健康・体力の向上
生きがい等

○学びは、生きる力の育成、自己の成長等につながり、人生をよりよく生きる可能性を高めます。「豊かな学び」はその可能性を一層高めます。

キーワード2 「ふるさとを愛する」とは

ふるさとを愛する心
(ふるさとへの誇りや愛着、郷土の自然や歴史等への理解など)

地元で活躍する人
地元から離れても何らかの形で地元とつながる人
自らの心の拠り所
国際社会で活躍する人 など

○「ふるさとを愛する」心は、持続可能な佐野市、多文化共生社会の実現に必要不可欠です。

キーワード3 「持続可能な社会の創り手を育む」とは



佐野市の偉人 代議士・田中正造 (1841~1913) 「真の文明」論
真の文明は 山を荒らさず 川を荒らさず 村を破らず 人を殺さざるべし

正造の「真の文明」論は人命の尊重や自然との共生など、世界共通の目標である「持続可能な社会」の実現の基盤となる考えを示しています。

○本市の偉人「田中正造」の思想であり、日本や世界が目指す「持続可能な社会」の創り手を育むことを本市教育の根幹に据えます。

4 基本的方向

基本的方向1 特色ある教育と心の教育の推進

特色ある教育と心の教育の推進により、子どもたちに新しい時代に必要な資質・能力の育成を図ります。

施策 1	確かな学力の育成に向けた教育の充実
施策 2	豊かな心の育成に向けた教育の充実
施策 3	健やかな体の育成に向けた教育の充実
施策 4	グローバル化に対応する教育の充実
施策 5	多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
施策 6	連続性・一貫性のある教育の推進
施策 7	主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進
施策 8	科学技術の基盤となる教育の推進
施策 9	教職員の資質・能力の向上

基本的方向2 安全・安心で良好な教育環境の整備

子どもたちの安全・安心と学びが保障される教育環境や教職員にとって良好な教育環境を整備します。

施策 10	市立学校の適正規模・適正配置の推進
施策 11	安全・安心で快適な学校施設の整備
施策 12	安全を守り、学びを保障する取組の推進
施策 13	教育の情報化の推進と情報セキュリティの確保
施策 14	学びのセーフティーネットの構築と充実
施策 15	教職員がいいききと教育活動に取り組める環境づくり

基本的方向3 教育を支える地域づくりの推進

教育を支える地域づくりの推進を図り、子どもたちの豊かな学びや成長を支えます。

施策 16	「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進
施策 17	地域との連携・協働のための取組の推進
施策 18	家庭教育支援の推進

※本計画へは「第3次佐野市スポーツ推進基本計画」の中から子どもたちに関する内容を記載しています。

基本的方向4 生活を豊かにする生涯学習の推進

人生100年時代を見据えた生活を豊かにする生涯学習を推進します。

施策 19	生涯学習の情報や機会の提供
施策 20	生涯学習の成果を活かす取組の充実
施策 21	青少年の健全育成の推進

基本的方向5 スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成

豊かなスポーツライフの実現に向け「する」「みる」「ささえる」視点からのスポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成を図ります。

施策 22	生涯スポーツの基礎づくりの推進
施策 23	次世代アスリートの育成の推進

基本的方向6 文化芸術活動の推進

地域の文化力向上に向けた文化芸術活動を推進します。

施策 24	文化芸術に触れる機会の充実
施策 25	文化芸術資源の有効活用
施策 26	文化芸術施設の基盤強化

基本的方向7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用

佐野市の誇る歴史・文化資源や豊かな自然を保存・活用し、郷土への愛情と誇りを育みます。

施策 27	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
施策 28	歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

III 学校管理

Ⅲ 学校管理

1 学校施設(設置状況・児童生徒数・学級数)

(1)小学校及び義務教育学校前期課程

(令和5年5月1日現在)

	学校名 所在地	児童数	学級数		教職員数		施設面積(m ²)			
					県職	市	敷地	校舎	屋内 運動場	プール (水面積)
1	佐野小学校 佐野市金屋下町10	246	12	(4)	21	10	17,662	5,255	854	325
2	天明小学校 佐野市大祝町2311	439	21	(7)	31	8	18,731	4,881	816	325
3	植野小学校 佐野市植上町1272	711	32	(8)	46	11	21,141	5,825	985	375
4	界 小学校 佐野市馬門町1539	384	17	(5)	24	7	15,646	3,894	745	325
5	犬伏小学校 佐野市犬伏下町1983	501	22	(4)	30	8	17,732	6,312	662	325
6	犬伏東小学校 佐野市伊勢山町1534	201	11	(4)	19	4	24,750	3,917	887	375
7	城北小学校 佐野市堀米町1156	767	34	(10)	49	11	24,263	7,004	859	375
8	旗川小学校 佐野市並木町964	158	8	(2)	15	3	16,249	3,272	581	325
9	吾妻小学校 佐野市上羽田町1369-1	69	6	0	13	3	12,666	3,044	801	175
10	赤見小学校 佐野市赤見町3229	135	9	(3)	15	5	14,136	3,008	626	325
11	石塚小学校 佐野市石塚町1408-2	116	8	(2)	15	4	26,535	4,325	787	325
12	出流原小学校 佐野市出流原町1038-1	62	6	(1)	11	3	11,917	2,164	515	325
13	田沼小学校 佐野市田沼町603	270	14	(4)	24	5	19,114	5,402	907	340
14	吉水小学校 佐野市吉水町832	272	15	(4)	23	4	12,984	3,127	692	250
15	栃本小学校 佐野市栃本町1037	56	6	(1)	11	3	13,758	2,001	563	250
16	多田小学校 佐野市多田町998	39	4	0	10	3	13,301	2,318	676	250
17	あそ野学園義務教育学校 佐野市戸室町156	546	24	(7)	37	7	※面積は中学校に記載			
18	葛生義務教育学校 佐野市葛生西3-4-1	189	9	(2)	17	5	※面積は中学校に記載			
計		5,161	258	(68)	411	104				

※学級数の()内の数字は特別支援学級の数

※教職員数は、会計年度任用職員を含む

※施設面積は令和5年度学校施設台帳より

(2)中学校及び義務教育学校後期課程

(令和5年5月1日現在)

	学校名 所在地	生徒数	学級数		教職員数		施設面積(m ²)			
					県職	市	敷地	校舎	屋内 運動場	プール (水面積)
1	城東中学校 佐野市若松町405	343	14	(3)	30	4	24,446	5,810	981	325
2	西中学校 佐野市大橋町2026	325	13	(2)	27	3	33,149	5,857	878	375
3	南中学校 佐野市植下町1205	492	19	(3)	35	5	25,985	5,662	812	375
4	北中学校 佐野市富岡町93	599	21	(4)	43	6	24,877	8,336	884	375
5	赤見中学校 佐野市出流原町628-1	186	9	(2)	20	3	40,575	5,080	843	375
6	田沼東中学校 佐野市栃本町2287	341	12	(2)	26	4	28,845	6,385	996	325
7	あそ野学園義務教育学校 佐野市戸室町156	259	11	(3)	23	1	43,955	7,713	1,193	350
8	葛生義務教育学校 佐野市葛生西3-4-1	110	6	(2)	16	1	28,548	6,424	1,444	325
計		2,655	105	(21)	220	27				

※学級数の()内の数字は特別支援学級の数

※教職員数は、会計年度任用職員を含む

※施設面積は令和5年度学校施設台帳より

※義務教育学校の用務員等の市費職員は、前期課程に計上

2 小中学校適正配置事業

少子化の進展に伴う複式学級の発生、学校施設の老朽化などの教育環境の変化により、良質な教育機会の提供が危惧されています。

課題解決に向けて、市立小中学校の規模と配置を一体のものとして検討し、適正な規模と配置を実現する小中一貫校の整備に関することを行っています。

1 義務教育学校の設置状況

(1) これまでに設置した義務教育学校

開校年度	学校名	対象校
令和2年4月	あそ野学園義務教育学校	田沼小学校の一部、戸奈良小学校、三好小学校、山形小学校、閑馬小学校、下彦間小学校、飛駒小学校、田沼西中学校
令和5年4月	葛生義務教育学校	葛生小学校、葛生南小学校、常盤小学校、氷室小学校、葛生中学校、常盤中学校

(2) 今後の義務教育学校の設置予定

開校目標年度	対象中学校区	対象校
令和10年4月	佐野西中学校区の義務教育学校	天明小学校の一部、植野小学校の一部、旗川小学校、吾妻小学校、佐野西中学校
令和12年4月	城東中学校区の義務教育学校	佐野小学校、天明小学校の一部、城北小学校の一部、城東中学校



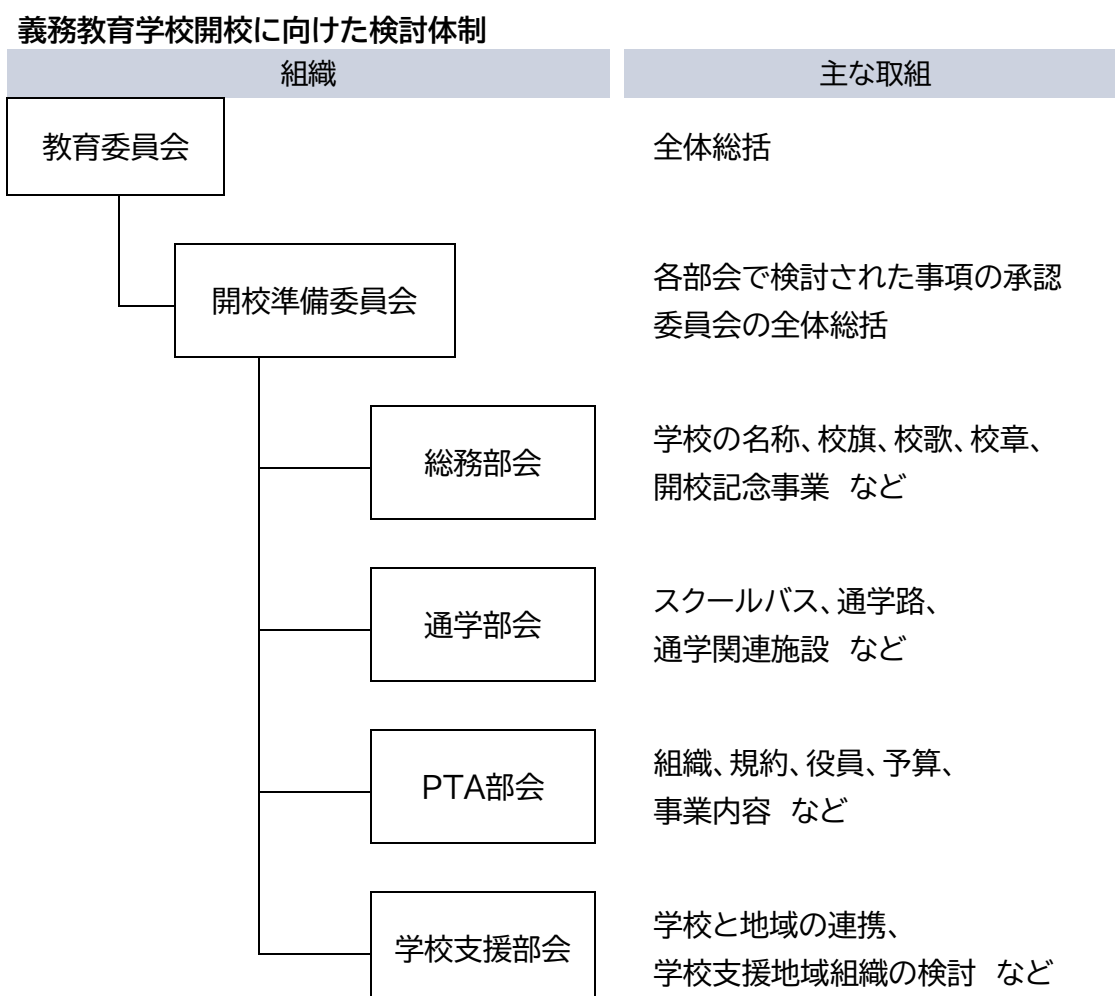
あそ野学園義務教育学校
(令和2年4月開校)



葛生義務教育学校
(令和5年4月開校)

2 佐野西中学校区小中一貫校整備事業

今年度は、佐野西中学校区小中一貫校開校準備委員会及び総務部会を設置し、主にソフト面の検討を進めていきます。



3 学校施設管理・整備・修繕

安全で快適な学校施設の整備・維持管理のため、施設の維持補修、学校敷地内の環境整備を行います。

1 小中学校トイレ洋式化事業

小中学校のトイレを洋式化し、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備します。

対象校	佐野小、植野小、界小、吾妻小、赤見小、赤見中
-----	------------------------

2 小中学校校舎屋根外壁改修事業

校舎の防水工事を行い、施設の延命化及び機能向上を図ります。

対象校	犬伏小、南中
-----	--------

3 小学校遊具改修事業

児童の安全を確保するために、点検で指摘された遊具の改修・修繕及び全校の定期点検を実施します。

対象校	界小、出流原小、田沼小、吉水小、多田小
-----	---------------------

4 小中学校屋内運動場改修事業

老朽化が進む屋内運動場の大規模改修及び長寿命化改修等を行います。

対象校	城北小、赤見中
-----	---------

4 スクールバス

佐野市内3学校の遠距離通学の児童・生徒を対象として、スクールバスの運行を行います。また各学校の校外学習等の際、市内及び隣接する市町を運行範囲としてバスで送迎を行います。

【令和5年度運行路線】

学校名		バス通学該当児童生徒数
植野小学校		10
あそ野学園義務教育学校	飛駒・下彦間線	88
	閑馬・山形・戸奈良線	114
	山形・戸奈良南回り線	26
	野上線	65
	船越農免道路線	22
葛生義務教育学校	氷室線	22
	牧・豊代線	38
	仙波・豊代線	19
	中線	36
	会沢線	5

【令和4年度運行実績】

学校名		通学送迎 運行日数	休日及び 夏季休業中 等運行日数	運行日数 計	バス通学該当 児童生徒数
植野小学校		188	1	189	9
葛生小学校		200	3	203	5
氷室小学校		199	3	202	6
義務教育学校 あそ野学園	飛駒・下彦間線	200	26	226	101
	閑馬・山形・戸奈良線	200	26	226	115
	山形・戸奈良南回り線	200	—	200	29
	野上線	200	26	226	74
	船越農免道路線	200	—	200	22
常盤中学校		198	36	234	8



IV 学校教育

IV 学校教育

1 重点目標

教育基本法、学校教育法、学習指導要領に基づき、また、栃木県教育行政基本方針及び佐野市総合計画に示された将来像や基本目標等を踏まえ、人間尊重の教育を基盤に、「生きる力」を身に付けた次代を担う児童生徒の育成を目指して、学校教育の推進・充実を図っています。

本年度も、「心豊かで、自ら学び、たくましく生きる児童生徒」の育成を目指し、3つの重点目標と15項目の努力点及び具体策を設定して、学校教育の推進の方向を示しています。

学校教育においては、心身ともに健やかで、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動できる児童生徒の育成と、基礎的・基本的な内容の確実な定着と個性を生かす教育を目指した質の高い学校教育を推進するために、以下の3つの重点目標について、それぞれの指標を示し、計画的・継続的にその達成に努めています。

◎重点目標

① 豊かな人間性や社会性を育てる教育

児童生徒を取り巻く様々な環境の変化や、社会体験、自然体験の減少などにより、社会性や協調性の欠如、いじめやネットトラブルの問題など、今日的課題への対応が求められている。

学校教育においては、道徳教育を中心に教育活動全体を通じて、人間尊重の教育を推進し、豊かな人間性や社会性の育成に努めなければならない。特に、生命を尊重する心や他人を思いやる心、規範意識や公共の精神などの育成を重視し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う必要がある。また、「心のさのし合言葉」「佐野市いじめゼロさのまるサミット宣言」等を通じて、家庭や地域社会と連携を図りながら、心の教育の推進・充実に努めることが重要である。

【指標】

- (1) 人権尊重・生命尊重の教育活動を積極的に推進する。
- (2) 人間尊重の精神を基盤に、同和問題をはじめとする様々な人権に関する課題を解決するために、人権教育の推進を図り、その実践に努める。
- (3) 教育活動全体を通じて、発達の段階等に応じた道徳教育の内容の体系化と指導の改善を図る。
- (4) 道徳科と特別活動等との関連を図るとともに、家庭との連携を密にし、日常生活における道徳的実践を促すよう努める。
- (5) 道徳性や情操を養う環境の充実を図る。
- (6) 職業や進路に関わる啓発的な体験的活動等を通して、自己の生き方についての

考えを深め、望ましい職業観や勤労観の育成に努める。

- (7) 教職員が児童生徒一人一人と関わる時間を十分確保し、児童生徒の理解に努め、それぞれのよさや個性を伸ばす指導・支援に努める。
- (8) 地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して、社会の一員としての自覚や連帯感、奉仕の精神、自然を愛する心などの育成に努める。
- (9) 我が国や郷土の伝統と文化及び自然を大切にする心情や態度を養う。
- (10) 国際社会を生きていく上で必要な資質や能力の育成に努める。

② 主体性と創造性を育てる教育

今日の社会では、児童生徒一人一人が、様々な社会的環境の変化に主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らのよさや可能性を発揮して豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となっていけるようにすることが求められている。

学校教育においては、社会の変化に主体的に向き合い、課題を解決できる児童生徒の育成を重視する必要がある。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、問題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。

【指標】

- (1) 教育活動全体を通じて、主体的態度や創造性の育成を図る。
- (2) 教科等横断的な視点を取り入れた教育課程の編成を図り、学習の基盤となる資質・能力の育成に努める。
- (3) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう、個に応じた指導の工夫を図る。
- (4) 家庭との連携を図りながら、基本的な学習習慣の確立(家庭学習の定着を含む)と主体的・意欲的な学習態度の育成に努める。
- (5) 各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方(「見方・考え方」)を育てる観点から、習得・活用・探究という学びの過程を重視した学習活動や言語活動の充実に努める。
- (6) 児童生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的かつ効果的に取り入れるように努める。
- (7) 分かる授業の実践に努め、補充的な学習や発展的な学習など個に応じた指導の充実に努める。
- (8) 学習評価の充実に努め、指導の改善や学習意欲の向上を図る。
- (9) 創意工夫した言語環境を整えるとともに、読書活動の充実に努める。
- (10) 家庭や地域社会と連携しながら、体験活動の機会の確保や児童生徒の学習環境等の改善充実に努める。

③ たくましく生きるための体力と実践力を育てる教育

体力の向上と心身の健康の保持増進は、人間生活の基本として重要なことであるとともに、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力を支える基盤としても不可欠なものである。

学校教育においては、自己の確固たる信念に基づいた強い意志と実践力をもち、心身ともに健やかで行動力に満ちたたくましい児童生徒の育成が図られなければならない。そのためには、体育・健康・安全・食に関する指導が、児童生徒の発達の段階を考慮し、教育活動全体を通じて適切かつ意図的、計画的に行われなければならない。また、家庭や地域社会との連携を図り、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めなければならない。

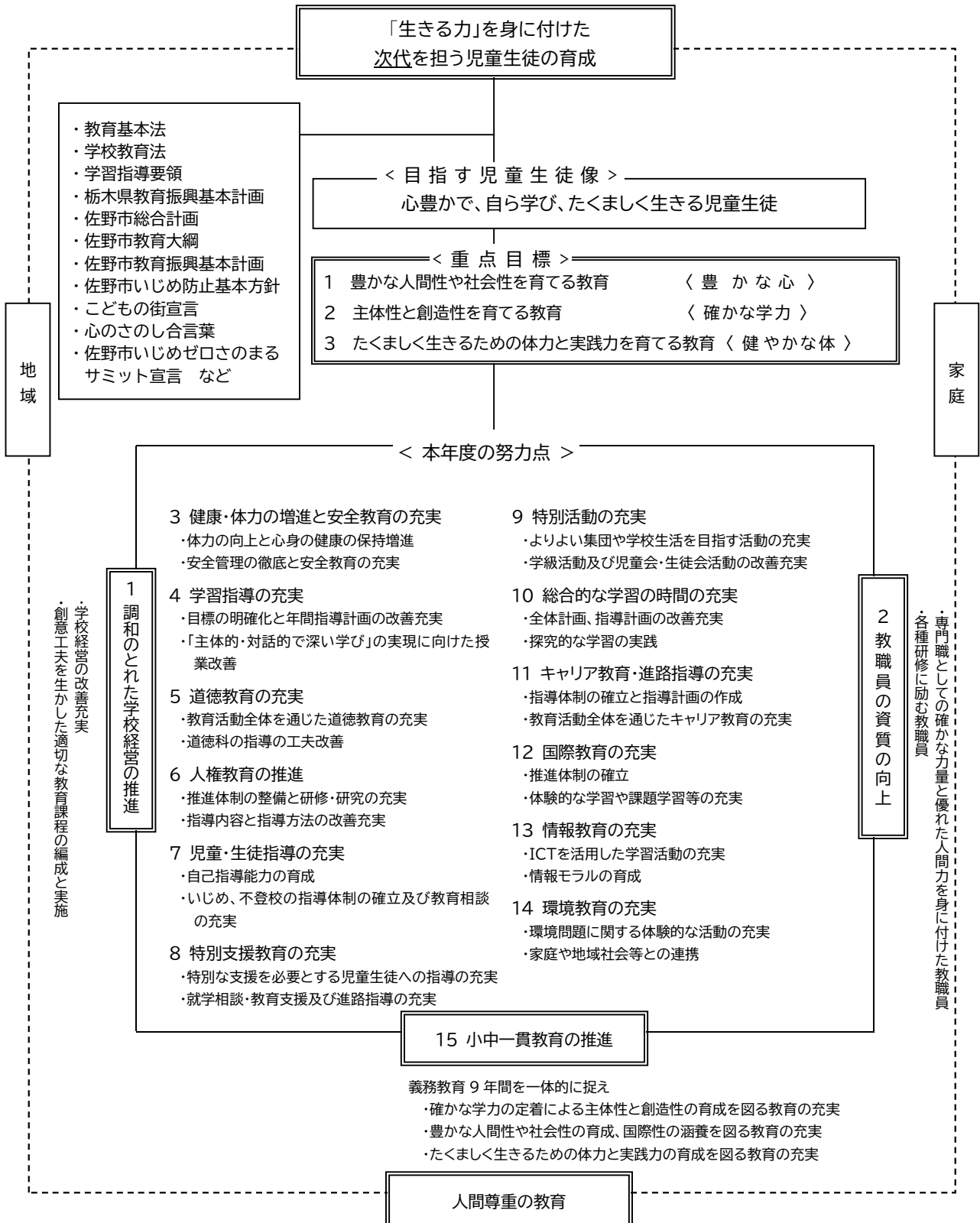
【指標】

- (1) 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。
- (2) 教育活動全体を通じて、体力の向上と心身の健康の保持増進を図り、家庭や地域社会との連携の下、心身ともに健康で安全な生活態度の育成に努める。
- (3) 現在及び将来の希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成を図る。
- (4) 自発的な活動を促進し、強い意志に基づく実践力の育成を図る。
- (5) 保健管理・保健教育の充実に努める。
- (6) 児童生徒の安全確保及び学校の安全管理の徹底を図り、安全教育の充実に努める。
- (7) 学校給食の安全・衛生管理の徹底を図るとともに、学校における食育の推進に努める。

【出典：令和5年度 学校教育指導計画(佐野市教育委員会)】

2 学校教育指導計画

令和5年度 学校教育指導計画 全体構想図



3 指導関係

1 学校訪問による指導

(1) 共同訪問指導

安足教育事務所の協力を得て共同訪問を実施し、学校経営、学習指導、児童・生徒指導、諸表簿の記載等について指導助言を行います。

*5年に1度のローテーションで訪問します。

令和5年度 対象校	天明小学校、赤見小学校、出流原小学校、栃本小学校、 西中学校
--------------	-----------------------------------

(2) 計画訪問・要請訪問指導

指導主事及び学校教育指導員による計画訪問及び学校からの要請による訪問を全小・中・義務教育学校に対して実施し、授業や協議を通して明らかになった教育活動の成果や諸問題に対して指導助言を行います。

(3) 研究学校訪問指導

市教育委員会指定の研究学校に対して、指導主事の計画的、継続的な訪問指導を実施し、研究主題追究のための指導助言を行います。

2 研究学校による研究推進

研究学校を指定し、人権教育や学習指導等についての研究や実践活動を推進しています。

研究領域	指定	学校名	研究主題等
人権教育	R3～R5 市教委	城東中学校	学校教育における人権教育の推進 「互いに認め合い、学び合いながら、主体的に行動する生徒の育成～授業や特別活動での人間関係づくりや集団づくりを通して～」
人権教育	R4～R6 市教委	城北小学校	学校教育における人権教育の推進 「互いのよさを認め合い、いきいきと活動する北斗の子の育成～コミュニケーション能力を高めるための活動を通して～」
人権教育	R5～R7 市教委	犬伏小学校	学校教育における人権教育の推進 「自他のよさを認め、温かな人間関係を築くことができる児童の育成～互いに認め合う学級・学校づくりを通して～」
学校DX(デジタルトランスフォーメーション)	R4～R5 市教委	田沼小学校 あそ野学園 義務教育学校	1人1台端末の効果的な活用をはじめとした学校のデジタル化の研究

研究領域	指定	学校名	研究主題等
学習指導 (英語)	R4~R5 市教委	植野小学校	小学校外国語科の指導法の研究
事務処理の 効率化実践 協力校	R4~ 県教委	北中学校	事務処理の効率化(共同実施)に関する研究
中学生マイ・ チャレンジ (職場体験)	R5 市教委	城東中学校 西中学校 北中学校 赤見中学校 田沼東中学校 あそ野学園義 務教育学校 葛生義務教育 学校	地域と関わり、職場体験・社会体験を通した 豊かな心や勤労観の育成(中学2年生対象)
外国人児童生 徒教育拠点校	R5 県教委	天明小学校 植野小学校 犬伏東小学校 城東中学校	帰国・外国人児童生徒に対する教育の研究と 実践
キャリア教育	R5 市教委	全学校	児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育 の研究

3 各種会議・研修会の開催

会議・研修会名	会場	研修内容
校長会議 ・校長研修会	教育センター	共通理解が必要な事項について伝達及び協議を 行います。(年11回)また、校長研修会では、県 校長会の研究主題に基づいた研究や学校教育の 諸問題についての協議を行います。
新任校長研修会	教育センター	教職員評価制度に係る実務について理解を深め ます。(年1回)
教頭・副校長会議 教頭・副校長研修会	教育センター	共通理解が必要な事項について伝達及び協議を行 います。(年3回)また、教頭・副校長研修会では、 県教頭会の研究主題に基づいた研究や学校教育の 諸問題についての協議を行います。
学校事務職員研修会	葛生あくとプラザ 小ホール	学校財務関係の事務処理等について共通理解を 図ります。(年2回)
主幹教諭・教務主任研 修会	教育センター	教育課程の編成や主幹教諭・教務主任の役割に ついて、講話及び研究協議を行います。(年1回)

会議・研修会名	会場	研修内容
人権教育主任会議	隣保館他	学校教育における人権教育の重要性、人権教育主任としての役割などについて共通理解を図るとともに、教職員研修や保護者啓発など、具体的な取組について情報交換を行います。(年3回)
人権教育研修会 I	隣保館	対象別研修会を実施し、人権教育の推進に関する研修を行います。(校長、教頭・副校長、主幹教諭・教務主任対象)
幼小連携教育研究会	小学校会場	保育園、幼稚園、認定こども園、小学校が互いの教育活動について理解し、連携を図るために、実践発表や研究協議等を行います。
英語授業研究会	植野小学校他	小学校と中学校の連携した授業を参観し、小中学校の連携・継続を踏まえた指導の在り方について研究・協議を行います。
衛生管理者・衛生推進者研修会	中央公民館	教職員の安全確保、健康の保持増進、快適な職場環境の形成のために、有識者による講話や研究協議を行います。

4 指導資料等の発行及び発行助成

資料名	発行元	配布等
学校教育指導計画	佐野市教育委員会	全教職員に配付
人権教育指導資料	佐野市立小中学校人権教育研究会	ダウンロード配信
わたしたちの佐野市	佐野市小学校社会科副読本作成委員会	小学校・義務教育学校3・4年児童に配付
佐野の子どもの理科研究	佐野市科学教育連絡協議会	各小・中・義務教育学校に配付
中学生のための礼儀作法読本	佐野市教育委員会	中学校1年及び義務教育学校7年生徒に配付

5 文部科学省・栃木県教育委員会からの教員等配置事業

事業名	対象校
学力向上実践加配教員配置事業	佐野小、天明小、植野小、城北小、旗川小、石塚小、城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中、あそ野学園、葛生義務
学力向上推進リーダー教員配置事業	あそ野学園
通級指導対応教員配置事業	佐野小、天明小、植野小、城北小、石塚小、田沼小、城東中、南中、北中、あそ野学園

事業名	対象校
児童生徒支援加配教員配置事業	天明小、旗川小、吉水小、城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中、あそ野学園、葛生義務
統合支援課題解決先導実践教員配置事業	葛生義務
情緒学級加配教員配置事業	天明小
専科教員配置事業	界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、赤見小、田沼小、吉水小、あそ野学園
初任者研修指導教員配置事業	あそ野学園
日本語指導対応教員配置事業	天明小、植野小、犬伏東小、城東中
栄養教諭配置事業	田沼小
学校事務職員配置事業	北中、葛生義務
適応指導教室対応教員配置事業	吾妻小
学校支援非常勤講師等配置事業 (小学校低学年)、(特別支援学級)、 (その他)	佐野小、植野小、犬伏東小、城北小、田沼小、あそ野学園、犬伏小、界小、佐野小、吾妻小、吉水小、多田小、葛生小、西中
主幹教諭業務担当教員代替非常勤講師配置事業	植野小、城北小、北中、あそ野学園
免許外教科担任解消非常勤講師配置事業	赤見中、田沼東中、葛生義務

6 心の教育の推進

各種事業を通して児童生徒の豊かな心の育成を図るとともに、「心のさのし合言葉」をポスターやクリアファイル等にして広く配付・活用し、心の教育の推進を図ります。

7 いじめ防止推進事業

いじめの予防、早期発見、早期対応などのいじめ問題への取組を行い、いじめ問題の解消を図ります。

8 小中一貫教育の推進

義務教育9年間の連続した学びの中で、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図ることを目指す小中一貫教育を推進します。

9 外国青年英語指導助手(ALT)指導事業

13名のALTが各小・中・義務教育学校を計画的に訪問し、ティーム・ティーチングにより小学校外国語活動等や中学校英語科の授業を指導するとともに、給食、清掃、学校行事等の活動を通して、実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進・充実を図ります。

10 日本語教室事業

日本語教室指導員、指導助手等の指導を通して、外国人児童生徒の日本語習得や教科補充、日本の生活への適応を図るとともに、異文化交流や国際理解教育の推進・充実に努めます。

設置校	学級数	開設年度
佐野小学校	1	平成2年1月29日

4 教育センター所管事業

教育センターは、学校教育を取り巻く様々な課題や教育的ニーズに対応するため、昭和56年4月1日に開設され、平成28年4月1日から旧佐野市立吾妻中学校校舎に移転しました。

今後も、佐野市の教職員、児童生徒、保護者が生き生きと輝けるよう支援の充実強化に努めてまいります。



1 教育センター施設

所在地	〒327-0042 佐野市上羽田町 1134 番地 1	
ホームページ URL	http://www.schoolnet-sano.ed.jp/kyoiku-c/	
施設概要	教育センター	3階建 RC造 2,943.00㎡ 1階 事務室 吾妻中資料室 相談室1 相談室2 文化財収納庫 吾妻こどもクラブ 2階 佐野市不登校児童生徒支援教室アクティヴ教室(職員室 学習室1 学習室2) 理科研修室 研修室1 研修室2 教室1 教室2 3階 大会議室1 大会議室2 コンピュータ研修室 検査室1 検査室2 家庭科研修室
	屋内運動場	2階建 S造 934.00㎡

2 教育についての調査研究

(1) 調査研究事業

教育の諸問題に関する調査研究を実施し、各市立学校における教育活動の改善に役立てるとともに、教員に研究の場を提供することによって、資質の向上を図ります。

ア 学習指導調査研究委員会

主体的・対話的で深い学びを実現するための1人1台端末の活用について～今すぐできる！教師も子どもも学びやすくなる端末活用術～

イ 特別支援教育調査研究委員会

通常の学級におけるインクルーシブ教育システムの推進～一人一人を大切に、子どもが安心して過ごせる学級集団作りを目指して～

ウ 研究紀要51号(CD-ROM 及び冊子・資料集等)の発行

(2) 諸検査実施委託事業

児童生徒一人一人の知能、学力等を客観的に理解する資料を得るために、知能検査・学力調査を実施します。検査・調査結果については、各学校や調査研究委員会で分析し課題を明確にするとともに、日々の教育活動における効果的な学習指導の推進に活用します。

ア 知能検査

小学校及び義務教育学校 2 年生

イ 学力調査

中学校 1 年生及び義務教育学校 7 年生を対象に、国語・数学・英語・質問紙調査を実施

3 教育相談

(1) 教育相談事業

幼児及び児童生徒の心身の健全な育成を図るため、教育上の問題や悩みをもつ児童生徒及び保護者等を対象に教育相談を実施し、問題解決への援助を行います。

学校における教育相談活動を推進するため、市教育相談研修への援助を行います。

ア 教育相談員による教育相談

- ・ 教育相談員委嘱 4 名(幼稚園長 1 名、小学校教員 1 名、アクティブ教室担当教諭 2 名)
- ・ 平日、教育センター内で実施

イ 随時教育相談

- ・ 平日、教育センター内で実施(臨床心理士を含む教育センター所員が対応)

ウ 来所による定期教育相談

- ・ 毎月 1 回、教育センターでの来所相談を実施(臨床心理士を含む教育センター所員が対応)

エ 電話による教育相談

- ・ 平日、教育センター内で実施(教育相談専用電話 20-3048)

オ 教育相談ちらしの配布(年 3 回)

(2) 不登校児童生徒支援教室「アクティブ教室」運営事業

不登校児童生徒が在籍校への復帰に向けて自ら動き出そうとする力や、社会的自立の基礎となる力を身に付けることを支援するための不登校児童生徒支援教室「アクティブ教室」を運営します。

(3) 心の教室相談員活用事業

児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレス等を和らげることのできる第三者的な存在となり得る心の教室相談員を市立学校に配置し、児童生徒が心のゆとりをもてるような

環境をつくります。(植野小、城北小に各1名配置)

(4) スクールソーシャルワーカーの活用

社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーを市立学校に派遣し、複雑化・多様化する児童生徒指導上の課題に対して、学校や関係機関と連携して、問題の未然防止、早期発見、早期解消を目指します。

ア 令和4年度活動状況

学校訪問 70回

家庭訪問 72回

イ 支援ケース数と類型

類型	貧困	いじめ	不登校	児童虐待	暴力行為	発達障害	その他
ケース数	15	7	72	12	2	24	113

※計85ケース コンサルテーション、助言等含む ※類型は複数選択

(5) 不登校支援フォーラムの開催(年4回)

不登校児童生徒の保護者等を対象に、不登校に関する講話や、同じ悩みを抱える保護者同士が互いの悩みを共有する場を設定し、不登校児童生徒への支援体制の充実を図ります。

(6) 佐野日本大学短期大学との地域連携事業

不登校及び不登校傾向の児童生徒を対象に、佐野日本大学短期大学のキャンパス見学、体験授業、学生との交流等を行い、自らの進路を主体的に考えるきっかけを作ります。

(7) みんなのがくやの開催(月1、2回程度)

学校への登校に抵抗や悩みのある児童生徒が、それぞれの状態に応じて参加出来る活動の場を提供し、イベントの参加や企画などの活動を通して、活動意欲、自己肯定感、コミュニケーション力の向上を図ります。

(8) スクールカウンセラー等活用事業

いじめ等の問題行動や不登校等、児童生徒指導上の課題の対応に当たり、児童生徒の臨床心理に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを市立中学校及び義務教育学校に配置し、学校の教育相談体制の充実を図り、児童生徒の問題行動等の解決に資するように努めます。

拠点校	城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中、あそ野学園義務教育学校、葛生義務教育学校 ※市立学校に8名(うち1名は兼務)配置
-----	----------------------------------------------------------------

(9) 教育相談状況(相談内容・相談者数・相談回数)

R5.3.31 現在

相談内容	学校種別	幼児	小学校・義務教育学校前期課程							中学校・義務教育学校後期課程				高校・その他	合計	電話	直接
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	なし	1年7年	2年8年	3年9年	なし				
不登校	新規(人)	2	3	3	3	3	4	5	1	6	1	4	0	0	35	26	9
	のべ(回)	2	4	3	3	6	4	12	1	6	13	11	0	0	65	28	37
集団への適応	新規(人)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
	のべ(回)	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2
ことば	新規(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	のべ(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学業・進学就職	新規(人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	2	1
	のべ(回)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	3	1
情緒	新規(人)	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	0	7	1	6
	のべ(回)	1	1	0	5	16	4	0	0	2	4	14	0	0	47	5	42
非行	新規(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	のべ(回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育一般	新規(人)	4	2	4	4	4	2	5	1	0	2	3	0	1	32	29	3
	のべ(回)	4	2	7	7	4	2	6	2	0	5	4	0	2	45	37	8
いじめ	新規(人)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	0
	のべ(回)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	3	0
学年別	新規(人)	8	7	8	8	9	6	10	2	8	5	10	0	1	82	62	20
	のべ(回)	8	8	11	20	27	10	18	3	8	24	30	0	2	169	79	90
学校別	新規(人)	50							23				1	82	62	20	
	のべ(回)	97							62				2	169	79	90	

臨床心理士による巡回相談等における学校支援回数(延べ回数)

学校等種別	回数
市立学校	221
保育園・幼稚園・認定こども園	2
計	223

4 教育振興

(1) 情報教育に関すること

ア 情報教育アドバイザー活用事業

教育センターに配置した3名の情報教育アドバイザーを市立学校に定期的に派遣し、情報教育並びに各学校の情報化の推進を図ります。

イ 学校安全情報共有システム実施事業

一斉メール配信システム及び学校 Web サイトシステムを利用し、児童生徒の安全を確保するための緊急情報を発信します。

ウ ICT環境維持管理事業

市内24校のICT環境を維持します。

(2) 特別支援教育に関すること

ア 巡回相談事業

特別な支援が必要な児童生徒について適切な指導や必要な支援に関する助言を行い、市立学校における特別支援教育の充実を図ります。

イ スクーリング・サポート事業

教育センターに指導員(スクーリングサポーター)を1名配置することによって、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援等に努めます。

ウ 特別支援教育研究会作品展開催支援事業

市立学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が作品展を通して友情を深め、学校生活をより充実したものにします。

エ 「通級による指導」指導校通級手続

通常の学級に在籍する児童生徒の中で、言語等に障がいがあり保護者が通級による指導を希望している児童生徒、及びソーシャルスキル、コミュニケーション能力、対人関係等について課題があり、保護者が通級による指導を希望している児童生徒の通級手続を行います。

【設置校】

学校名	担当者数	開設年度
佐野小学校	2	平成9年4月1日
天明小学校	1	令和5年4月1日
植野小学校	1	令和2年4月1日
城北小学校	1	平成30年4月1日
石塚小学校	1	平成13年4月1日
田沼小学校	2	平成22年4月1日
城東中学校	1	令和3年4月1日
南中学校	1	令和5年4月1日
北中学校	1	令和2年4月1日
あそ野学園義務教育学校	1	令和2年4月1日

オ 就学相談・教育支援委員会への協力

児童生徒の適切な就学を図ることを目的に、保育園・幼稚園・認定こども園・市立学校・

関係機関等と連携を図って保護者と就学相談を行ったり、教育支援委員会への協力をしたりします。

(3) 教職員の研修に関すること

研修名	目的	対象	開催回数
学習指導主任研修会	本市の学習上の課題を把握、共有し、指導方法等の改善に生かすことにより、児童生徒の学力の向上を図ります。	市立学校の学習指導主任、学力向上推進リーダー	1回
学級経営研修	学級経営における基本的事項の理解や課題解決に向けた研修を通して、学級担任としての資質や指導力の向上を図ります。	市立学校教職員の受講希望者	1回 (夏季休業中)
情報教育研修会	今日の情報化社会において、子どもに対して情報活用能力を育むことのできる教員の育成を目指します。	市立学校教職員の受講希望者	1回 (夏季休業中)
教育相談研修	学校教育相談に関する基礎的な知識・技能・態度を習得し、広く学校教育相談活動に意欲的に取り組む教員を育てます。	市立学校教職員の受講希望者	1回 (夏季休業中)
特別支援教育研修会	発達障がい等のある子どもの理解と支援等についての講話や演習を通して、特別支援教育についての基礎的な理解を深め、指導力の基盤を培います。	市立学校教職員の受講希望者	1回 (夏季休業中)
ICT活用研修会	1人1台端末を活用した授業づくりについて理解を深め、教員の指導力向上を目指します。	市立学校教職員の受講希望者	2回
パワーアップ研修講座	専門職である教員としての識見や能力の一層の向上を図ります。(勤務時間外の希望研修) 研修内容:学習指導、教育相談、情報教育、特別支援教育	市立学校教職員の受講希望者	年8回



特別支援教育研修会



ICT活用研修会

(4) その他研修等

ア 教育講演会開催事業

学校教育の実情に基づいて、その内容を専門的に研究している人物等の講演を聴くことによって、教育内容や方法等の改善や充実を図ります。

イ 栃木県総合教育センター関係

- ・ 研修参加者のとりまとめ、出欠、報告
- ・ 学校への調査・会場校・講師依頼
- ・ 市初任者等研修会の実施
- ・ 教育研究発表会への協力

ウ 所報等の作成

- ・ 所報「教育センターだより」の発行(年3回)
- ・ Web サイトによる発信

エ 学校訪問や研修等における助言・指導

5 指定学校の変更

1 大規模校解消に係る指定学校変更受入校への通学

大規模校の通学区域に居住する児童生徒が指定学校変更受入校への通学を希望する場合は、通学することが認められます。

対象となる児童・生徒	指定学校変更受入校
植野小学校の通学区域に居住する児童	天明小、界小、吾妻小
城北小学校の通学区域に居住する児童	佐野小、天明小、犬伏小、旗川小
北中学校の通学区域のうち堀米地区に居住する生徒	城東中、西中
北中学校の通学区域のうち鏡塚町・西浦町に居住する生徒	南中

2 小規模特認校への通学

小規模特認校の教育活動に賛同し、保護者の負担と責任において1年以上の通年通学を希望する場合に、通学区域外の児童であっても通学が認められます。

小規模特認校(4校)	吾妻小、出流原小、栃本小、多田小
------------	------------------

6 学校と地域の連携

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(R3.中教審答申)でも示されたように全ての子供たちの知・徳・体を一体的に育むためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たし、相互に連携・協働して、地域全体で子供たちの成長を支えていく環境を整えることが必要とされています。本市でもそのための環境整備を計画的に進めてまいります。

1 コミュニティ・スクール推進事業

現在各校で実施している学校評議員制度から、地域と学校が一体となり子供たちを育成するコミュニティ・スクール(CS：学校運営協議会制度)に段階的に移行していきます。

(1) 設置計画

年度	区分	学校名
令和2年度		あそ野学園義務教育学校
令和5年度		葛生義務教育学校
令和6年度	小学校 A グループ	佐野小、天明小、植野小、界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、旗川小、吾妻小
令和7年度	小学校 B グループ	赤見小、石塚小、出流原小、田沼小、吉水小、栃本小、多田小
令和8年度	中学校	城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中



葛生義務教育学校 第1回学校運営協議会

(2) コミュニティ・スクールの推進

学校名	委員数	事業内容
あそ野学園義務教育学校	14名	会議開催(年3回) 学校見学会、ふるさとウォークほか
葛生義務教育学校	8名	会議開催(年3回) ふるさとウォークほか

※委員数には学校長を含む



あそ野学園義務教育学校「ふるさとウォーク」(R4.12.6開催)

(3) 小学校 A グループへのコミュニティ・スクール導入支援

令和6年度に学校運営協議会と学校地域応援団を設置するために、委員の人選や研修会等を計画的に進めていきます。

開催時期	名称	内容
R5.12月	学校運営協議会委員候補者研修	CSマイスターによる事業説明

(4) 小学校 B グループへのコミュニティ・スクール導入支援

令和4年度栃木県教育委員会「頑張る！学校・地域応援プロジェクト事業」の研究指定校として、界小学校を中心に、研修会の開催、リーフレットの作成・配布など CS 導入の基盤づくりを進めます。

ア 会議等の開催

開催日	名称	内容
R5.6.12	第1回連携推進会議	事業概要説明、実施計画、演習
R6.2月頃	第2回連携推進会議	各校の地域連携活動の成果と課題

イ 研修会の開催

開催日	名称	内容
R5.8.7	小学校Bグループ 教職員研修会	コミュニティ・スクールにおける教職員の役割について
R5.12月頃	小学校Bグループ ボランティア研修	(仮題)学校と地域の連携・協働のススメ ～よきパートナーとなるために～

2 地域学校協働活動推進事業

各地域において子供、保護者、教職員、地域住民が学び合い高め合える地域コミュニティを創造するため、学校と地域の連携・協働を推進し、学校において地域住民が活動できる環境を整えます。

(1) 学校支援ボランティア活動の充実支援

学校支援ボランティアが活動支援中に他人に対して損害を与えた場合の賠償責任とボランティア本人の傷害事故を総合的に支援する保険に加入し、学校支援ボランティア活動の促進を図ります。

(2) PTA交通補導箇所交通事故傷害保険の加入

児童生徒の通学が安全に行うことができるようPTA交通補導員を設置し、安心して活動ができるよう交通事故傷害保険に加入します。

(3) 学校支援ボランティア交流研修会の開催

学校を支援するボランティアとして継続的に活動を希望する人や、より効果的な活動を展開したいと希望する人を対象に研修会を開催し、資質の向上を図ります。

開催日	開催日	内容
第1回	R5.6.30	「これからの学校と地域の連携の在り方について」
第2回	R5.9.22	「コーディネート計画の作成について」

(4) 地域コーディネーター養成研修の開催

学校支援ボランティアの活動を推進するため、学校の要望と地域住民の願いをつなぐ地域コーディネーターを養成する研修を開催します。

開催時期及び回数	6月～11月(4回予定)
----------	--------------

(5) 地域コーディネーター養成研修の開催

佐野市の地域学校協働本部である学校地域応援団の活動を支援します。

7 保護者等に対する支援施策

1 就学援助事業

経済的理由によって市立学校に就学することが困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学校の教育に係る学用品費、学校給食費、医療費等の一部を給付することで負担を軽減し、安心して学校に通学できるようにすることを目的とします。

また、特別支援教育の普及を奨励するため、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、学校の教育に係る費用の一部を支給します。

(1) 要保護・準要保護児童生徒に対する各種扶助

【令和4年度実施状況】

扶 助 区 分		給与人員(人)			給与額(円)		
		小学生	中学生	計	小学生	中学生	計
学用品 等 扶助費	学用品費	328	191	519	3,481,110	4,076,630	7,557,740
	通学用品費	291	126	417	601,440	270,860	872,300
	校外活動費	244	54	298	383,704	124,740	508,444
校外活動費(泊有)		62	61	123	166,055	342,438	508,493
体育実技費		—	9	9	—	48,278	48,278
新入学児童生徒学用品費		40	69	109	2,135,400	4,140,000	6,275,400
修学旅行費		63	57	120	1,222,940	4,157,151	5,380,091
卒業アルバム代等		63	57	120	665,650	501,600	1,167,250
学校給食扶助費		328	179	507	15,628,420	10,018,566	25,646,986
医療費扶助費		—	—	—	—	—	—
合 計					24,284,719	23,680,263	47,964,982

(2) 特別支援教育就学奨励費

【令和4年度実施状況】

扶 助 区 分	給与人員(人)			給与額(円)		
	小学生	中学生	計	小学生	中学生	計
奨励費扶助費	287	74	361	9,940,025	3,908,246	13,848,271

2 奨学資金貸付事業

本市在住の学生で、経済的理由により大学等に修学困難な方に学資を貸与し、広く人材を育成することを目的とします。

財源は、返還される奨学金と育英基金及びその利子により運営しています。

(1) 貸付金額・期間

貸与金額	月額 50,000 円以内(金額は 1 万円単位で選択可)
貸与期間	正規の修業期間
貸与の方法	2か月分をまとめて貸与 ※4月・5月分→4月振込、6月・7月分→6月振込のように、 2ヶ月分を偶数月に振込

※高校等奨学金(月額・入学一時金)、大学等入学一時金の貸付は
令和 2 年度より募集停止

(2) 返済期間

貸与期間が満了してから原則半年間据え置きし、貸与期間の4倍に相当する期間以内に
月賦、半年賦、年賦のいずれかの方法で返還

※原則として均等払、無利子。納付書または口座振替にて返還

※卒業後、半年間据え置かず返還することも可能

(3)貸付人数及び貸与額の合計

令和5年9月1日時点

年度	貸与人数(人)		貸与額の 合計
	高校等	大学等	
17	8	87	45,154千円
18	15	92	54,008千円
19	18	89	55,550千円
20	19	96	60,440千円
21	12	112	67,900千円
22	14	111	69,030千円
23	12	117	70,890千円
24	13	114	71,120千円
25	9	104	63,120千円
26	9	107	63,910千円
27	4	119	70,210千円
28	5	127	73,820千円
29	4	127	74,210千円
30	9	116	67,290千円
R元	11	91	73,480千円
R2	9	84	50,730千円
R3	3	69	40,340千円
R4	1	82	47,480千円
R5	0	85	49,200千円

3 佐野市奨学金返済助成事業

若者の佐野市内への定住促進を目的として、佐野市に住民登録があり、佐野市奨学金の返還をしている者で、5年間市内に居住すると誓約した者に対し、返還金の一部を補助金として交付します。

【令和4年度助成額】

一人あたり助成額	人数	計
10,000円	3人	30,000円
15,000円	5人	75,000円
25,000円	39人	975,000円
合計	47人	1,080,000円

8 学校保健及び安全

1 学校保健

- (1)健康診断の円滑化及び事後指導の強化を図ります。
- (2)児童生徒の体位と疾病異常について調査集計し、保健指導の資料とします。
- (3)環境衛生検査器具を用いて、学校環境衛生の改善に努めます。
- (4)学校管理下における児童生徒の負傷等の治療費について、日本スポーツ振興センターを活用して給付します。
- (5)心臓疾患の早期発見を目的として小学校1年生・4年生、義務教育学校1年生・4年生・中学校1年生、義務教育学校7年生を対象に心電図及び心音図による検診を行います。

ア 児童生徒の平均体位(令和4年度)

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)	
		男	女	男	女
小学校・ 義務教育 学校(前期)	第1学年	116.2	115.5	22.2	21.3
	第2学年	122.3	121.9	24.8	24.8
	第3学年	128.9	127.3	29.3	27.6
	第4学年	133.5	134.5	32.5	31.8
	第5学年	139.9	140.1	36.8	36.3
	第6学年	145.9	147.6	41.3	41.0
中学校・ 義務教育 学校(後期)	第1学年	154.8	152.0	47.4	44.9
	第2学年	160.4	154.9	51.1	48.9
	第3学年	166.0	156.3	57.0	50.4

イ 児童生徒の疾病異常被患率 (令和4年度)

(単位:%)

区 分		小学生		中学生	
		男	女	男	女
肥 満 度	痩身傾向児	0.82	1.12	2.44	3.01
	標準	80.68	85.97	81.52	86.54
	軽度肥満	8.16	6.82	6.80	5.86
	中程度肥満	7.90	4.93	6.65	3.25
	高度肥満	2.43	1.16	2.59	1.35
裸 眼 視 力	1.0 以上	61.02	57.95	44.80	30.46
	0.7 以上 1.0 未満	12.35	14.25	9.15	8.07
	0.3 以上 0.7 未満	15.32	14.98	17.64	19.62
	0.3 未満	11.00	12.40	26.35	35.68
難 聴		0.70	0.58	0.11	0.00
眼疾病・異常		3.59	3.23	5.50	4.39
耳疾患		9.37	8.40	7.05	4.63

区 分		小学生		中学生	
		男	女	男	女
鼻・副鼻腔疾患		3.81	2.77	8.72	5.93
口腔咽頭疾患異常		0.69	0.62	0.15	0.97
栄養状態疾病異常		18.75	14.75	6.29	4.35
脊柱・胸郭・四肢の疾病異常		3.84	2.83	2.00	2.29
アトピー性皮膚炎		3.04	2.32	2.44	1.34
結核精密検査対象者		5.00	5.73	0.07	0.00
蛋白検出疾病異常		6.35	8.28	13.37	11.91
尿糖検出疾病異常		0.11	0.12	0.15	0.08
心電図異常		6.44	3.07	6.29	4.62
心臓疾病異常		1.20	1.03	1.35	1.13
ぜん息		5.32	3.54	2.53	1.35
腎臓疾患		0.22	0.19	0.30	0.24
言語障害		0.30	0.23	0.22	0.32
その他の疾病・異常		1.72	1.27	2.98	2.63
う 歯	処置完了	19.05	20.34	38.10	40.29
	未処置	24.56	21.79	11.63	9.75
歯 口 腔	歯列・咬合	5.35	5.23	5.17	3.85
	顎関節	0.12	0.12	0.08	0.16
	歯垢の状態	2.73	2.79	7.98	5.24
	歯肉の状態	1.81	1.65	4.41	2.95
	その他の疾病・異常	12.63	14.36	4.11	3.60

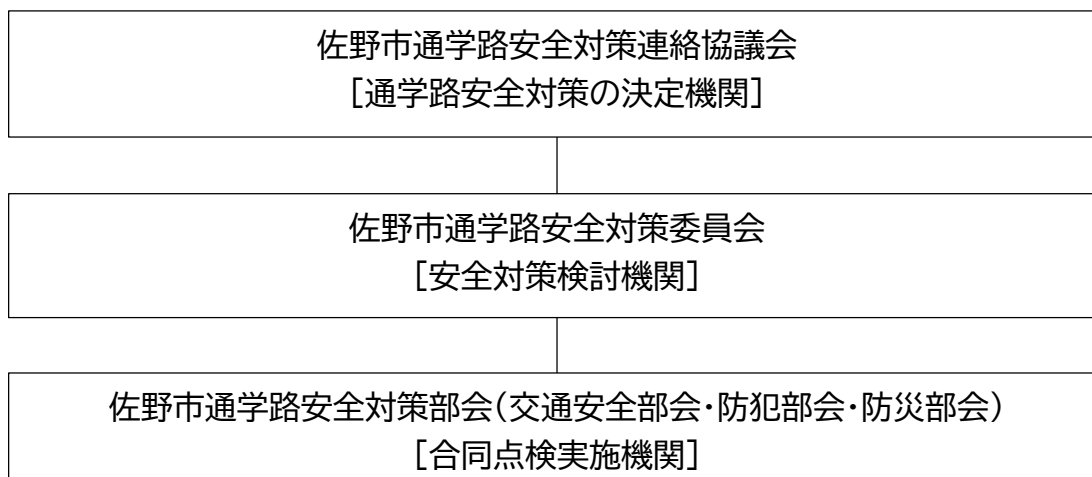
ウ 日本スポーツ振興センター法に基づく医療給付等件数及び給付額(令和4年度)

区 分	給 付 件 数	給 付 額
小 学 生	284件	1,373,829円
中 学 生	403件	2,815,337円
計	687件	4,189,166円

2 通学路安全対策

市長を会長、教育長を副会長とする佐野市通学路安全対策連絡協議会を設置し、交通安全・防犯・防災の3観点について、通学路安全対策案・本市の安全対策の方向性を決定します。連絡協議会の下には、安全対策委員会、安全対策部会を設置し、通学路の危険箇所の合同点検を実施し、具体的な対策について検討いたします。

(1)組織



(2)令和4年度合同点検等実施結果

種 別	合同点検実施箇所数	対策実施箇所数 (対策実施中の箇所含む)
交通安全	41	33
防 犯	3	3
防 災	1	0

9 学校給食・食育

学校給食の目標は、「適切な栄養摂取による健康の保持増進」、「日常の食事について正しい理解を深め望ましい食習慣の形成」の他に、食育の観点から「明るい社交性・協同の精神」、「生命・自然を尊重する精神並びに環境保全に寄与する態度」、「食生活が多くの人々の活動に支えられていることを理解し勤労を重んずる態度」の養成、「伝統的な食文化の理解」、「食料生産・流通・消費の正しい理解」といった7項目が掲げられています。

また、健康教育の一環として実施している学校給食を教材として活用し、学校や保護者との連携を図りながら、魅力ある給食づくりと食育の推進に努めています。

なお、近年食物アレルギーを持つ児童生徒に対しても、可能な限り個々に応じた対応が求められることから、食物アレルギー対応食の提供も行っています。

1 学校給食の運営

(1) 佐野市立学校給食センター運営協議会

ア 運営協議会委員 12名

(内訳) 小・中・義務教育学校長 4名、小・中・義務教育学校PTAの代表 5名、
学識経験者 3名

イ 運営協議会の開催

開催日	内 容
令和5.7.24	学校給食の概要について

(2) 佐野市学校給食食物アレルギー対策委員会

ア 対策委員会委員 12名

(内訳) 小・中・義務教育学校長 2名、佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会
の推薦を受けた者 2名、学識経験者 1名、医師 1名、養護教諭 2名、
教育部長、学校管理課長、栄養教諭2名

イ 対策委員会の開催

開催日	内 容
令和5.10(予定)	学校給食における食物アレルギー対応の手引き等の検証について

(3) 衛生管理講習会の実施(学校給食衛生管理基準に規定)

開催日	対 象 者	参加人数
令和5.6.27	学校給食食材納入業者、学校給食センター職員	39名

(4) 学校給食に関する情報の提供について

保護者に対して学校給食の理解を図るための「献立表」「給食だより」「食育だより」を発行しています。

(5) 献立作成会議

各学校の給食主任の先生と学校給食センター職員(所長、栄養教諭及び栄養職員)により、情報交換をしながら献立作成を行っています。

2 学校給食センターの概要

令和5年 8月1日現在(給食人員は令和5年5月1日現在)

名 称		南部学校給食センター	北部学校給食センター
所 在 地		佐野市大橋町 2040-1	佐野市戸奈良町 52
開設年月日		平成24年8月1日	平成25年8月1日
調理場方式		ドライ	ドライ
供給校及び 給食人員		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 7校 2,762名 (佐野、天明、植野、界、犬伏、 犬伏東、吾妻) ・中学校 4校 1,882名 (城東、西、南、北) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 9校 2,080名 (城北、旗川、赤見、石塚、出流原、 田沼、吉水、栃本、多田) ・中学校 2校 570名 (赤見、田沼東) ・義務教育学校 2校 1,204名 (あそ野学園、葛生)
職 員 数	事務職員	所長(主幹) 1名	所長(再任用) 1名
	栄 養 士	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭 1名 ・ 学校栄養職員 1名 ・ 市栄養士 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭 1名 ・ 学校栄養職員 2名
	ボイラー技士	—	1名(再任用短期)
	計	4名	5名
業 務 委 託	調理員	32名	33名
	配送員	5名	6名
	ボイラー技士	1名	1名
	配膳員	15名	18名
	計	53名	58名



ご当地メニュー「佐野黒からあげ」を
メインにした給食

3 栄養摂取状況(令和4年度)

(1) 小学校・義務教育学校(前期課程)

栄養素	1人1日 - kcal	蛋白質	脂 肪	加鈣μg mg	鉄 mg	ビ タ ミ ン				ナトリウム (塩分相当量) g
						A μg RE	B1 mg	B2 mg	C mg	
基準量	650	摂取エネルギーの13~20%	摂取エネルギーの20~30%	350	3.0	200	0.40	0.40	25	2.0g 未満
摂取量	643	24.2	21.2	349	3.3	327	0.65	0.59	28	2.4
充足率	99%	-	-	100%	110%	164%	163%	148%	112%	-

(2) 中学校・義務教育学校(後期課程)

栄養素	1人1日 - kcal	蛋白質	脂 肪	加鈣μg mg	鉄 mg	ビ タ ミ ン				ナトリウム (塩分相当量) g
						A μg RE	B1 mg	B2 mg	C mg	
基準量	830	摂取エネルギーの13~20%	摂取エネルギーの20~30%	450	4.5	300	0.50	0.60	35	2.5g 未満
摂取量	807	29.7	25.1	385	4.3	391	0.84	0.68	33	3.0
充足率	97%	-	-	86%	96%	130%	168%	113%	94%	-

4 学校給食費及び未納対策

(1) 学校給食費

区 分	学校給食費
小学校・義務教育学校(前期)	月額4,800円
中学校・義務教育学校(後期)	月額5,500円

学校給食費の未納対策として、各学校と連携し、児童手当支給に合わせた学校徴収金の納付相談を実施しています。それでも給食費の納付が進まない世帯に対し、臨戸訪問による納付相談を実施していきます。

(2) 給食費の経理状況(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

ア 収入

施 設 名	調定額	収入済額	納付率
南部学校給食センター	262,140,792円	259,108,057円	98.84%
北部学校給食センター	219,850,652円	217,350,482円	98.86%
合 計	481,991,444円	476,458,539円	98.85%

イ 支出

施設名	支出済額(賄材料費)
南部学校給食センター	262,514,938円
北部学校給食センター	220,255,878円
合計	482,770,816円

ウ 過年度未納分の給食費収入

施設名	収入済額
南部学校給食センター	451,700円
北部学校給食センター	482,728円
合計	934,428円

5 学校給食での食物アレルギー対応食の実施

(1) 食物アレルギー対応食の提供人員(令和4年度)

施設名	小学校・ 義務教育学校(前期)	中学校・ 義務教育学校(後期)	合計
南部学校給食センター	26名	15名	41名
北部学校給食センター	25名	8名	33名
合計	51名	23名	74名

(2) 食物アレルギー対応食の対応内容

表示対象特定原材料28品目のうち、アーモンド、そば、あわび、いくら、まつたけ、落花生、カシューナッツ、キウイフルーツ、くるみ、やまいも、小麦、大豆、ゼラチン、牛肉、鶏肉、豚肉を除く12品目「卵、乳、えび、かに、いか、オレンジ、ごま、さけ、さば、バナナ、もも、りんご」について除去または代替で対応した。

6 食に関する指導

食に関心を持ちその大切さを児童生徒に理解してもらうため、年間を通して食に関する指導を実施します。

【令和4年度実施状況】

	小学校・ 義務教育学校(前期)	中学校・ 義務教育学校(後期)	合計
実施回数	215回	23回	238回

(1) 食に関する指導体制の充実

すべての学校で食育が体系的に行われるよう、各学校における「食に関する指導の全体計画」に基づいて実施します。

(2) 指導内容及び学校給食の充実

文部科学省や県が作成した食生活学習教材の活用を図るとともに、学校給食を「生きた

教材」として活用できるよう献立内容の充実を図ります。

(3) 児童生徒の個別指導の充実

食物アレルギーや肥満傾向にある子どもたちに対し、個別指導の充実を図ります。

(4) 家庭・地域と連携促進

- ・ 家庭や地域と連携・協力し、給食試食会や家族料理教室を開催するなど、事業を通して食育を推進します。
- ・ 「食育だより」「給食だより」で、規則正しい食事の大切さ等について情報提供を行い、保護者を中心として家庭・地域における食育を推進します。

7 地場産物の活用状況(令和4年度)

栃木県産(佐野産含)使用率	64.93% (うち佐野産使用率 27.64%)
---------------	-----------------------------

※使用率は、令和4年6月及び11月の第3週の5日間に学校給食で使用した各食材の金額を基に算出した。

調査期間中の活用品目は米、米粉、たまねぎ、にんじん、だいこん、ねぎ、きゅうり、牛乳、納豆、卵の一部



令和4年度 学校給食展
令和5年2月2日~4日開催
(佐野市役所市民活動スペース)



10 学校部活動の地域移行

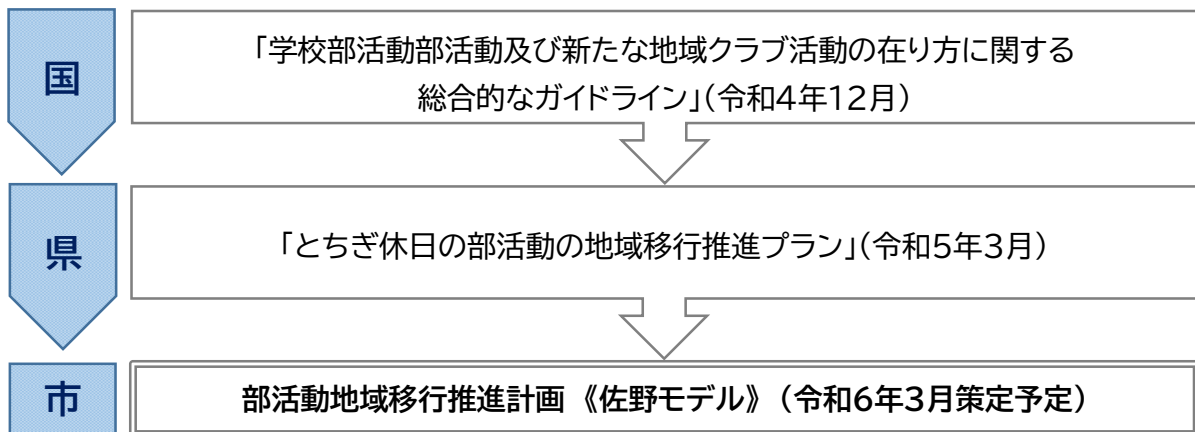
学校部活動は、学校教育の一環として、生徒の自主的、自発的な参加により行われるものです。スポーツ・文化芸術等に親しむ機会を確保し、達成感の獲得、学習意欲の向上や責任感・連帯感の涵養に資するとともに、自主性の育成にも寄与しています。また、人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制、信頼感・一体感の醸成などにも貢献しています。部活動を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフ、芸術や芸術文化に関わる資質・能力の育成なども期待されます。

様々な教育的意義があり、学校教育において大きな役割を担ってきた部活動ですが、少子化の影響や価値観の多様化等により、特に持続可能性という面で厳しい状況にあります。さらに、教員の働き方改革の面でも、競技・活動経験のない教員が指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導、大会への引率や運営への参画が求められる点など、教員にとって大きな業務負担となっており、早急な改善が必要です。

中学生期の子どもたちが豊かなスポーツ・文化芸術活動に取り組むことが出来るよう、学校と地域との連携・協働により持続可能な活動環境を整備していきます。

1 佐野市部活動地域移行推進計画の策定

中学校で行われている部活動を地域クラブ活動へと移行させるための方向性を示し、中学生が興味関心に沿ったスポーツ・文化活動に継続して参加できること、さらには教職員の長時間労働の解消を目的として、部活動地域移行推進計画《佐野モデル》を策定します。



2 部活動地域移行推進協議会の設置

(1) 佐野市部活動地域移行推進協議会

ア 協議会委員 15名

(内訳)

学識経験者 2名

小・中・義務教育学校PTAの代表 5名

市内スポーツ・文化関係団体の代表 4名

小中校長会長・中学校長会長 2名

中学校体育連盟会長・中学校文化連盟会長 2名



イ 運営協議会の開催

開催日	内 容
令和5.5.25	(1)部活動地域移行推進についての経緯と今後の取組について (2)部活動地域移行推進計画《佐野モデル》(案)について
令和5.8.4	「佐野市部活動地域移行推進協議会 提言(案)」について (1)部活動地域移行の背景について (2)部活動地域移行推進計画《佐野モデル》の策定について
令和5.9.14	(1)第2回佐野市部活動地域移行推進協議会後の経緯について (2)「佐野市部活動地域移行推進協議会 提言(案)」について

(2) 佐野市部活動地域移行推進検討委員会

ア 委員会委員

(内訳) 教育部長、産業文化スポーツ部長、文化推進課長、スポーツ推進課長
学校管理課長、学校教育課長

イ 検討委員会の開催

開催日	内 容
令和5.4.26	これまでの経緯について 本市の現状、部活動地域移行内容
令和5.5.9	部活動地域移行推進計画《佐野モデル》(案)について アンケート結果について
令和5.6.26	第1回佐野市部活動地域移行推進協議会の報告 運営団体、実施方法、指導者の確保、参加費の負担
令和5.7.18	部活動地域移行推進計画《佐野モデル》策定の背景について 部活動地域移行推進計画《佐野モデル》(案)について
令和5.8.22	第2回 佐野市部活動地域移行推進協議会の報告 佐野市部活動地域移行推進協議会 提言(案)
令和5.9.25	第3回 佐野市部活動地域移行推進協議会の報告 部活動地域移行推進計画《佐野モデル》(案)について

3 スポーツ庁・文化庁委託事業による実践研究

(1) 実践研究の実施状況

名 称	対象校	種目
令和3年度	田沼東中学校	陸上競技(男女)、サッカー、バスケットボール(男女)、バレーボール(男女)、ソフトテニス(男女)、卓球(男女)、剣道、吹奏楽
令和4年度		
令和5年度	田沼東中学校 あそ野学園義務教育学校	陸上競技(男女)、サッカー、バスケットボール(男女)、バレーボール(男女)、ソフトテニス(男女)、卓球(男女)、剣道、軟式野球、吹奏楽

【令和5年度実施状況】

運営団体	特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ
対象	休日に活動する全運動部・文化部
活動日	5月から2月までの休日(土・日・祝日のいずれか)に20回を予定 ※概ね月2回程度 ※他の休日はこれまでどおり、教員の指導による学校部活動
活動時間	1回あたり3時間程度

(2) 研修会の開催

開催日	名称	参加者	内容
令和5.5.11	部活動地域移行推進事業研修会	・各校の部活動顧問 ・各校の校長・教頭 ・地域クラブ活動指導者 ・たぬまアスレチッククラブ代表者	・「部活動地域移行推進事業」の事業概要確認 ・各部活動方針等の確認 ・活動計画の作成
令和5.5.21	地域クラブ活動指導者研修会	・地域クラブ活動指導者 ・たぬまアスレチッククラブ代表者	・生徒に対する適切な指導の在り方 ・緊急時の対応 ・心肺蘇生法の実習研修



4 広報活動

(1) 佐野市立学校部活動地域移行通信の発行

発行No.	発行月	内容
No.1	R5.1	①佐野市における部活動の現状 ②田沼東中学校での実践研究
No.2	R5.2	令和5年度の取組
No.3	R5.6	①田沼東中学校・あそ野学園義務教育学校での先行実施 ②部活動地域移行推進協議会の開催 ③栃木県教育委員会の取組
No.4	R5.7	①陸上競技部の地域移行 ②教職員による地域クラブ活動指導

(2) 佐野市ホームページへの掲載

部活動地域移行の進捗状況などの情報を随時掲載していきます。



V 生涯学習・社会教育

V 生涯学習・社会教育

1 生涯学習

高齢化、情報化、価値観の多様化、自由時間の増加などにより、市民一人一人が生きがいある充実した生活を求めてきており、市民の学習に対するニーズも益々多様化しています。

生涯学習は、学校教育、社会教育及び家庭教育のほか、個人の趣味・教養の学習活動やボランティア活動、社会参加活動など幅広い内容となっていますが、近年、社会変化に伴い現代が直面する地域課題等の解決のためにも、その重要性は高まっています。

「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」必要に応じて市民が学習することができるよう本市の生涯学習事業を全市・全庁的な課題として、その効果的な推進を図りながら市民の自主的・主体的な学習を支援します。

(1)生涯学習推進体制の整備

ア 生涯学習推進協議会

(ア)生涯学習推進協議会の構成（19人） 令和5年4月1日現在

選任区分	
社会教育委員代表	文化協会代表
中央公民館サークル連絡協議会代表	楽習講師会代表
スポーツ協会代表	学識経験者（4人）
町会長連合会代表	佐野日本大学短期大学教授
男女共同参画ネットワークさの代表	聖徳大学非常勤講師
小中義務教育学校PTA連絡協議会代表	市立小学校長会代表
子ども会連合会代表	市立中学校長会代表
青年会議所代表	教育部長
ボランティア協会代表	

(イ)生涯学習推進協議会の活動

第2次生涯学習推進基本構想・基本計画をもとに、本市の生涯学習の課題や今後の目標などを協議します。

(2)生涯学習まちづくり推進事業

ア 生涯楽習フォーラム「佐野楽」

期日 令和6年3月2日(土)～3月3日(日)

会場 佐野市文化会館

※楽習フェア及び静のアート作品展も同時開催



イ 地域生涯学習推進事業

(ア) 楽習出前講座

公共施設等を利用した地域のサークル活動やグループ等の学習需要に対し、そのテーマに即した講師を派遣する出前講座を開設するとともに、公共施設等の活用促進に努めます。また、楽習講師編と行政編で計218メニューを取り揃え、主に登録楽習講師の中から派遣し、学習成果を発揮する場を提供します。

令和4年度実施状況	実施回数:87回、参加者数:1677人、登録講師:130人
-----------	-------------------------------

(イ) 楽習講師企画講座

楽習講師が主体的に講座を企画・開催できるように、広報・公共施設の会場申請・申込み受付等を支援し、市民の学習機会の充実を図ります。

令和4年度実施状況	実施講座:19講座、受講者数:134人
-----------	---------------------

(ウ) 佐野市民大学・生涯学習プログラム開発実践講座

時代に即応したテーマを取り上げた講座を、中央公民館を中心会場として開催します。また、市民の生涯学習のニーズに的確に応えるため、さらに魅力的な講座内容とするために、企画運営スタッフとの打合せ会議を開き、講座の企画運営を行います。
会場:中央公民館

期 日	内 容	講 師
令和5.10.14(土) 13:30~15:00	子育て支援の現状と課題 ～自分たちが出来る子育て支援を考える～	立正大学 社会福祉学部 准教授 藤高 直之
令和5.10.21(土) 13:30~15:00	生涯学習社会と楽しいまちづくり、 生活づくりのヒント	立正大学 社会福祉学部 教授 大平 滋
令和5.12.9(土) 13:30~15:00	地域のちよっと前の出来事が物語に なるまで	立正大学 文学部 教授 浅岡 隆裕



(工)生涯学習活躍人養成講座

生涯学習活動を円滑に進めるために、知識・能力・技術をのばすことにより、自己及び社会形成活動を一体化できるような人材・指導者を育成することを目的とします。

(3)生涯学習情報提供等による支援体制の整備

ア 生涯学習情報「オープン」の広報さのへの掲載

生涯学習に関する個人あるいは団体・サークル等の活動状況、楽習講師の紹介や学習機会の情報提供など、「広報さの」に特集記事を掲載します。

イ 「生涯学習メニューパンフレット」の発行

生涯学習の推進を図るため、公共施設等で開催される講座やイベント、楽習出前講座のメニューや公民館サークルの紹介、また、楽習講師登録等の案内など、生涯学習に関する情報誌として、年2回発行します。

ウ 両毛広域生涯学習ネットワーク推進協議会

両毛6市(佐野、足利、桐生、太田、館林、みどり)生涯学習所管課が、連携・協働による生涯学習施策を展開するため、広域的かつ柔軟なネットワークの強化を目指して活動します。

活動項目	期 日	活 動 内 容
両毛コーナー 出展	令和5. 5. 2(火) ～5. 5(金)	桐生市「有鄰館まつり」に出展
両毛コーナー 出展	令和5. 5. 28(日)	館林市「ふるさとづくり市民フェスティバル」に出展
総会	令和5. 6 月	総会提出議案の審議、承認(書面議決)
両毛コーナー 出展	令和5. 11. 3(金)	足利市「教育文化振興大会」に出展
両毛コーナー 出展	令和5. 12. 5(火)	太田市
両毛コーナー 出展	令和6. 2. 11(日)	みどり市「みどり市生涯学習大会」に出展
両毛コーナー 出展	令和6. 3. 2(土) ～3. 3(日)	佐野市「佐野市生涯楽習フォーラム『佐野楽』」に出展

※その他、各市担当者会議等を実施

2 社会教育

「教育基本法」及び「社会教育法」の理念を尊重しながら、「令和5年度佐野市社会教育行政の基本方針」に基づき、関係機関並びに社会教育関係団体等との連携を密にして、生涯学習社会における社会教育の振興を図るための事業を積極的に推進します。

(1)社会教育委員の設置

社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について研究や協議を行い、社会教育に関して求めに応じ指導・助言を行います。

ア 委員の構成(18人)

令和5年4月1日現在

選任区分	
市立小学校長会代表	小中義務教育学校PTA連絡協議会代表
市立中学校長会代表	子ども会連合会代表
市内高等学校長会代表	県女性教育推進連絡協議会代表
市内大学代表	少年補導員会代表
スポーツ協会代表	県家庭教育オピニオンリーダー連合会代表
文化協会代表	学識経験者(7人)

イ 社会教育委員会議の開催

期日	会場	内容等
令和5.7.6(木)	市民活動スペース	辞令交付式 (1)令和5年度社会教育関係事業について (2)令和5年度社会教育委員事業計画について (3)社会教育委員から選出の各種委員について
令和6.1月下旬	未定	(1)令和5年度社会教育関係事業実施状況について (2)令和5年度社会教育関係団体補助金の交付状況について (3)令和6年度社会教育計画(案)について (4)令和6年度社会教育関係団体補助金の交付について (5)令和6年度佐野市社会教育委員会議等年間計画(案)について

ウ 社会教育委員研修会への参加

研修名	期日	会場	内容等
第54回関東甲信越静社会教育研究大会 (栃木県社会教育委員協議会研修会も兼ねる)	令和5.11.21(火) ~11.22(水)	栃木県宇都宮市	・記念講演 ・シンポジウム ・分科会

(2)地域と学校の連携・協働

ア 地域学校協働活動の推進

地域住民等の参画を得て、地域全体で児童・生徒の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動を推進します。

(ア)学校支援ボランティア活動の充実支援

学校支援ボランティアが活動中に他人に対して損害を与えた場合の賠償責任とボランティア本人の傷害事故を総合的に補償する保険に加入し、学校支援ボランティア活動の促進を図ります。

【令和4年度実績】

保険加入者数	延活動人数
908人	42,227人

(イ)PTA交通補導箇所交通事故傷害保険の加入

児童生徒の通学が安全に行うことができるようPTA交通補導員を設置し、安心して活動ができるよう交通事故傷害保険に加入します。

【令和4年度実績】

補導箇所	加入者数
209か所	230人

(ウ)学校支援ボランティア交流研修会の開催

学校を支援するボランティアとして継続的に活動を希望する人や、より効果的な活動を展開したいと希望する人を対象に研修会を開催し、資質の向上を図ります。

期 日	内 容	会 場
令和5. 6. 30(金)	講話・協議 「これからの学校と地域の 連携の在り方について」 文部科学省 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 専門調査官 悴田 伸一 氏	中央公民館
令和5. 9. 22(金)	演習 「コーディネート計画の作成について」 宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 准教授 石井 大一郎 氏	中央公民館

(エ)地域コーディネーター養成研修の開催

学校支援ボランティアの活動を推進するため、学校の要望と地域住民の願いをつなぐ地域コーディネーターを養成する研修を安足教育事務所と共催で開催します。

期 日	内 容	会 場	回数
令和5. 6. 30(金) ~11. 17(金)	講話、演習、情報交換など	中央公民館ほか	全4回

イ 放課後子ども教室推進事業

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進します。令和5年度は、6学校区に 7 教室開設する予定です。

(ア)放課後子どもプラン運営委員会の開催

2回(6月29日(木)、2月予定)の運営委員会を開催します。

(イ)放課後子ども教室開設学校区

学校区名	居場所のタイプ	活動日	活動場所	活動時間
犬伏東小学校区	日常型 日常・イベント型	金曜日 土曜日	犬伏東小学校	14:40~17:30 9:00~12:00
旗川小学校区	待機型	木曜日	旗川小学校	14:40~15:40
石塚小学校区	待機型	火・金曜日	石塚小学校	14:50~15:50
出流原小学校区	待機型	木曜日	出流原小学校	14:45~16:30
多田小学校区	待機型 イベント型	火曜日 土曜日	多田小学校	14:40~15:20 イベントによる
葛生義務教育 学校区	待機型	火曜日	葛生義務教育 学校	14:40~15:40
	日常型	第3土曜日	葛生地区公民館	9:30~12:00

(3)青少年の健全育成及び女性教育の推進

ア 子ども会ジュニアリーダー研修会

子ども会活動において中心的役割を担う小学校及び義務教育学校5・6年生に対し、ジュニアリーダーとしての必要な知識及び技術を習得させ、子ども会活動の充実支援を行います。

期 日	内 容	会 場	対 象
令和5.未定	仲間づくり、スタンプラリー、グループワーク等	作原野外活動施設	小学校及び義務教育学校5・6年生の子ども会会員

イ 佐野・芦屋青少年交流事業

親善都市であり、茶釜で天明鋳物と並び称されている福岡県芦屋町の青少年と、こどもサミット、鋳物づくり等を通して交流を図ります。

期 日	会 場	対 象
令和5.8.8(火)~10(木)	福岡県芦屋町	小学5年生~中学2年生及び義務教育学校5年生~8年生

ウ 青少年活動育成促進事業

青少年が様々な活動を通して交流し成長していけるよう、青少年育成団体と中・高校生の育成方法などの協議を行い、中学生、高校生、義務教育学校7年生~9年生を集めての研修会を開催します。

事 業 名	期 日	会 場
青少年ボランティア研修会	令和5.4.23(日)、5.5(金・祝) 6.25(日)、9.24(日) 10.15(日)、11.12(日)	こどもの国 他

エ 二十歳のつどいの開催

二十歳を祝い、責任ある市民としての自覚を促すため、式典等を開催します。

(ア)二十歳のつどいの概要

期 日	会 場	対 象 者
令和6.1.7(日)	文化会館大ホール 田沼中央公民館大ホール 葛生あくとプラザ大ホール	平成15年4月2日～平成16年4月1日の出生者で、市内在住者又は出身者

(イ)過去の二十歳のつどいの出席状況(3会場合計)

【令和4年度実績】

区 分	男	女	合 計
対象者数	508人	548人	1,056人
出席者数	419人	427人	846人
出席率	82.48%	77.92%	80.11%

(ウ)二十歳のつどい企画運営委員会の設置

つどい参加対象者の代表者である各委員が、つどいの企画段階から式典運営まで参加することにより、思い出に残る自分たちの二十歳のつどいとするために設置します。

【令和4年度実績】

会 場	佐野会場	田沼会場	葛生会場
委 員 数	12人	8人	7人
会議回数	5回	5回	4回

オ 栃木県女性教育指導者研修への派遣

地域活性化のための団体活動等の在り方と男女共同参画社会の在り方について学び、社会参画に必要なスキルの向上を図り、指導者としての資質の向上のため研修に派遣します。

期 日	回 数	会 場
令和5.7.21(金) ～令和6.1.10(水)	全8回	栃木県総合教育センター とちぎ男女共同参画センター ほか

(4)家庭教育の推進

ア 安足地区家庭教育・子育て支援担当者研修の参加

家庭教育支援について先進事例を学び、それらの現状を把握するとともに、情報交換や意見交換をしながら、家庭教育に関する活動の在り方やネットワークの広げ方などを協議し、地域の家庭教育及び子育て環境の充実、発展を図るため、担当職員を派遣します。

期 日	内 容	会 場
令和5.11.8(水)	家庭教育と子育て支援関係者のネットワークを広げるための意見交換や、親学習プログラムの効果的活用についての情報交換等	安蘇庁舎

イ 家庭教育推進講座の開催

子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育について学ぶ講座を企画します。

ウ 家庭教育出前講座の開催

すべての保護者を対象に、保育園・幼稚園や小学校等で家庭教育について学ぶ講座を開催します。

(5)社会教育指導員の設置

社会教育の特定分野の学習相談、社会教育関係団体の指導助言及び地区公民館等の各種ボランティア養成、サークル指導、講座の開設等を担当し、社会教育活動の充実・活性化を図ります。

所 属	生涯学習課 (人権教育担当含む)	地区公民館				合 計
		中央	犬伏	城北	田沼中央	
人 数	3人	1人	1人	1人	1人	7人

ア 研修会

内 容	期 日	会 場	参加者
栃木県社会教育指導員研修会	令和5.7.5(水)	栃木県総合教育センター	3人
栃木県社会教育指導員協会 研修会	令和5.12.8(金)	栃木県総合教育センター	-人
安足地区社会教育指導員研修	第1回 令和5.5.9(火) 第2回 令和5.10.20(金) 第3回 令和5.11.17(金) 第4回 令和5.11.30(木)	安蘇庁舎 安蘇庁舎 あしかがフラワー パークプラザ 県内・県外	10人 -人 -人 -人

(6)社会教育団体への支援

ア 佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会への支援

事 業 名	期 日	会 場	内 容 等
総会	令和5.5.13(土)	田沼中央公民館	事業報告、収支決算、 事業計画、収支予算等
学校給食試食会	令和5.10.11(水)	北部学校 給食センター	学校給食試食
PTA 研修会	令和5.11	オンライン	会員のための研修会
教育フォーラム	令和6.2.11(日)	佐野市文化会館	未定

※その他、PTA会長研修会、P連だより作成等

イ 佐野市子ども会連合会への支援

事 業 名	期 日	会 場
総会	令和 5.5.12(金)	田沼中央公民館

ウ 全国子ども会安全共済会の加入状況

【令和4年度実績】

加入区分	加入者数
幼児	171人
小学生	5,010人
中学生	473人
高校生・指導者・育成会員・ジュニアリーダースクラブ会員	2,124人
合計	7,778人

エ 佐野市の青少年とともに育つ市民の会への支援

事業名	期日	会場	内容等
総会・研修会	令和5.6.24(土)	中央公民館	事業計画、収支予算等
心豊かな青少年を育む市民のつどい	令和5.12.2(土)	田沼中央公民館	表彰、少年の主張等

※その他、市民の会だより発行、携帯電話講習会支援、啓発活動等

オ 社会教育関係団体等への運営費補助

団体名
佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部
佐野ユネスコ協会
佐野市の青少年とともに育つ市民の会
葛生ジュニアリーダースクラブ
佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
佐野市子ども会連合会
「小さな親切」運動佐野支部
佐野市原水爆禁止協議会

3 社会教育関連施設(公民館・図書館・視聴覚ライブラリー・作原野外活動施設)

(1)公民館

公民館の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という機能を十分に活かし、社会教育施設並びに生涯学習の拠点の一つとして、それぞれの地域との密接なつながりのうえに活動を展開しています。

また、市民の学習ニーズや社会的課題に対応した学習機会を提供するとともに、市民の自主的な学習活動を支援しています。



施設名	所在地
佐野市中央公民館	佐野市金井上町 2519
植野地区公民館	佐野市寺中町 2297-1
界地区公民館	佐野市馬門町 1510-1
犬伏地区公民館	佐野市犬伏下町 1798
城北地区公民館	佐野市堀米町 1173
旗川地区公民館	佐野市並木町 957-1
吾妻地区公民館	佐野市村上町 9
赤見地区公民館	佐野市赤見町 3082
田沼中央公民館	佐野市戸奈良町 1-1
田沼地区公民館	佐野市栃本町 2384-3
田沼南部地区公民館	佐野市小見町 752
栃本地区公民館	佐野市栃本町 2047-5(栃本地区コミュニティセンター内)
田沼北部地区公民館	佐野市多田町 3776-3(田沼北部地区コミュニティセンター内)
戸奈良地区公民館	佐野市戸奈良町 970-1(戸奈良地区コミュニティセンター内)
三好地区公民館	佐野市戸室町 1183(三好生活改善センター内)
野上地区公民館	佐野市白岩町 486-1(野上基幹集落センター内)
山園地区公民館	佐野市閑馬町 361-1(新合総合センター内)
閑馬地区公民館	佐野市閑馬町 361-1(新合総合センター内)
下彦間地区公民館	佐野市閑馬町 361-1(新合総合センター内)
飛駒地区公民館	佐野市飛駒町 1576-2(飛駒基幹集落センター内)
葛生地区公民館	佐野市葛生東 1-11-15
常盤地区公民館	佐野市仙波町 167
氷室地区公民館	佐野市水木町 846

ア 公民館運営審議会

(ア)運営審議会の構成

令和5年4月1日現在

選任区分	
市立小学校長会代表	葛生各地区公民館関係者代表
市立中学校長会代表	田沼11地区公民館関係者代表
市内高等学校長会代表	葛生各地区公民館関係者代表
佐野各地区公民館運営委員会代表(2人)	栃木県消費生活リーダー連絡協議会佐野支部代表
社会教育委員代表	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部代表
中央公民館サークル連絡協議会代表	学識経験者(2人)
田沼中央公民館サークル連絡協議会代表	

(イ)運営審議会の開催

開催日	会場	審議内容
令和5.5.26(金)	市民活動スペース	令和4年度佐野市公民館事業報告、令和5年度佐野市公民館事業計画(案)

イ 公民館利用状況(令和4年度)

公民館名	延利用件数(件)			延利用人数(人)			使用料(円)
	登録 サークル	その他		登録 サークル	その他		
中央	2,634	1,136	1,498	21,315	9,320	11,995	762,740
植野地区	1,650	1,071	579	17,168	9,901	7,267	350,020
界地区	1,440	645	795	13,354	5,656	7,698	61,160
犬伏地区	1,342	745	597	15,533	8,630	6,903	225,225
城北地区	2,299	1,604	695	23,902	14,927	8,975	177,870
旗川地区	709	552	157	6,987	4,767	2,220	4,730
吾妻地区	499	369	130	5,571	3,111	2,460	0
赤見地区	1,373	777	596	18,173	8,080	10,093	52,690
[佐野合計]	11,946	6,899	5,047	122,003	64,392	57,611	1,634,435
田沼中央	1,239	424	815	19,463	3,352	16,111	737,810
田沼地区	761	164	597	7,425	1,368	6,057	157,850
田沼南部地区	48	0	48	624	0	624	3,080
[田沼合計]	2,048	588	1,460	27,512	4,720	22,792	898,740
葛生地区	453	262	191	4,954	2,500	2,454	49,550
常盤地区	381	194	187	3,919	1,688	2,231	700
氷室地区	152	65	87	1,238	310	928	12,960
[葛生合計]	986	521	465	10,111	4,498	5,613	63,210

ウ 事業計画

(ア) 市民教養講座

地域課題を解決するための学習機会と、楽しみながら学習して生きがいを感じられるような知識・趣味的内容の学習機会を提供する講座を開催します。

地区別	公民館名	講座名	期日	メニュー数 (講座)	回数 (回)
中央	中央	ゆうゆう人生応援塾	5月～12月	8	9
		中央趣味講座	6月～12月	10	16
佐野	植野地区	植野いきいきセミナー	6月～12月	9	9
		趣味の教室	6月～10月	7	14
	界地区	さかいセミナー	6月～12月	7	7
		趣味の講座	6月～11月	6	8
	犬伏地区	犬伏うるおいセミナー	6月～12月	7	8
		趣味の講座	6月～12月	10	10
	城北地区	市民教養講座	5月～1月	9	9
		趣味の教室	6月～12月	8	10
	旗川地区	知識の講座	6月～12月	8	8
		趣味の講座	6月～12月	8	11
	吾妻地区	吾妻はつらつセミナー	6月～12月	6	7
		趣味の講座	6月～12月	7	10
	赤見地区	あかみふれあいセミナー	6月～12月	8	8
		趣味の講座	6月～12月	9	9
田沼	田沼中央	ふるさと創生セミナー	6月～11月	8	8
		趣味の講座	6月～12月	10	11
葛生	葛生地区	市民教養講座	5月～12月	16	21
	常盤地区	市民教養講座	6月～12月	14	16
	氷室地区	趣味の講座	6月～12月	12	12
[合計]				192	226

(イ) 親と子の交流活動

中央公民館と田沼中央公民館を会場とし、親と子のきずなを深めながら、子どもの情操を豊かにし、心身の健全な育成を図ることを目的とした講座を開催します。

名称	会場	期日	メニュー数 (講座)	回数 (回)
親と子のふれあい活動	中央公民館 田沼中央公民館	6月～12月	6	12

(ウ)事業開催支援

- ・ 公民館祭り等開催支援
例年、各公民館での公民館祭り等の開催を支援します。
- ・ 田沼各地区公民館活動支援
田沼各地区公民館(11館)において交付金を交付し、特色ある様々な活動の実施を支援します。

公民館活動名	主な活動場所	メニュー数 (講座)
田沼地区	田沼地区公民館	2
田沼南部地区	田沼南部地区公民館	6
栃本地区	栃本地区コミュニティセンター	5
田沼北部地区	田沼北部地区コミュニティセンター	4
戸奈良地区	戸奈良地区コミュニティセンター	4
三好地区	三好生活改善センター	3
野上地区	野上基幹集落センター	5
山園地区	新合総合センター	1
閑馬地区	新合総合センター	3
下彦間地区	新合総合センター	3
飛駒地区	飛駒基幹集落センター	4
合計		40

(2) 図書館・視聴覚ライブラリー

図書館が市民の共同の書斎となるよう、市民のニーズを受けとめ、サービスを充実させ、利用の推進を図ります。また、多様化する情報社会に対応する資料を提供できるよう、資料収集方針に基づく積極的な資料収集に努め、親しみやすく、利用しやすい、市民の生涯にわたる学習の場としての図書館運営を展開します。



施設名	所在地
佐野市立図書館	佐野市大蔵町 2977
佐野市立田沼図書館	佐野市田沼町 910-5
佐野市立葛生図書館	佐野市葛生東 1-11-8
佐野市視聴覚ライブラリー	佐野市大蔵町 2977



佐野市立田沼図書館



佐野市立葛生図書館

ア 図書館協議会の構成(15人)

令和5年4月1日現在

選任区分	
市立小・中学校長会代表	社会教育委員代表
市内高等学校長会代表	公民館運営審議会委員代表
生涯学習推進協議会代表	県家庭教育オピニオンリーダー連合会代表
文化協会代表	学識経験者(7人)
小中義務教育学校PTA連絡協議会代表	

イ 図書館協議会開催状況

期日	審議内容
令和5.6.22(木)	令和5年度図書館運営方針、令和5年度図書館事業計画 令和5年度視聴覚ライブラリー事業計画 について
令和5.10下旬	令和4年度図書館利用状況 令和4年度視聴覚ライブラリー利用状況・受入資料 図書館等指定管理事業評価について

ウ 所蔵資料状況

令和5年3月31日現在

図書資料	464,832冊 (内児童書 160,173冊)
郷土資料	20,109冊
視聴覚教材	14,779点
令和4年度受入冊数	13,308冊

エ 利用状況(令和4年度)

	入館者数(人)	貸出人数(人)	貸出冊数(冊・点)
図書館(移動図書館含む)	112,453	77,451	273,164
田沼図書館	75,898	25,048	114,502
葛生図書館	29,966	10,292	37,512
合計	218,317	112,791	425,178

オ 視聴覚機材・教材の利用状況(令和4年度)

	所有数	利用回数
機材	23台	3回
教材	889点	4回

(3)作原野外活動施設

スポーツやレクリエーションを通して、市民の健康と体位の向上並びに青少年の健全育成を図る施設として指定管理者により開設しています。



施設名	作原野外活動施設
所在地	佐野市作原町 818
施設概要	センターハウス(定員 30 名 2 室、定員 4 名 1 室、定員 3 名 1 室) 別館(定員 6 名 6 室、定員 2 名 1 室、定員 4 名 1 室) 屋内調理場、体育館、テニスコート(2 面)、芝生広場、キャンプ場

ア 令和5年度開設期間

キャンプ場 令和5年5月1日(月)~10月31日(火)

その他の施設 令和5年4月15日(土)~11月15日(水)(火曜日定休)

イ 利用状況(令和4年度) (単位:人)

月	利用人数(実人数)
4	44人
5	189人
6	99人
7	460人
8	396人
9	139人
10	68人
11	3人
計	1,398人

4 少年指導センター

青少年の健全育成と非行の未然防止を図るため、少年補導員を委嘱し、日常の街頭補導や、催事における特別補導等を実施しています。また、青少年に関する悩みごと相談を常時開設しています。

(1)少年補導員の構成(71人)

令和5年4月1日現在

選任区分	人数	選任区分	人数
学校教職員	19人	女性団体役員	2人
児童委員	13人	警察職員	2人
保護司	4人	教育委員会職員	1人
更生保護女性会員	3人	学識経験者	10人
PTA及び子ども会育成会役員	17人		

(2)活動状況

名称	月日	場所	人数等	内容
新任補導員研修	令和5.6.12(月)	サンルート佐野	一人	
「青少年の非行・被害防止全国強調月間」事業	令和5.7.1(土)～31(月)	田沼行政センター 周辺 他2箇所	15本	青少年非行防止啓発用 登り旗の掲揚
電車内マナー指導 (列車補導)	令和5.7.3(月) 7.4(火)	岩舟駅～足利駅 葛生駅～館林駅	一人	青少年の電車内でのマナー指導
栃木県青少年健全育成 条例第52条に基づく 立入調査	令和5.7.7(金)	足利・佐野 各市内	一人	書店、携帯電話販売店、リ サイクルショップ及びカラ オケ店等における遵守事 項実施状況の調査
	令和5.11.7(火)		一人	
特別補導 (たぬまふるさと祭り、 さの秀郷まつり、くずう 原人まつり、えびす講、 たぬま初午まつり)	—	市内	一人	催事における巡回補導
佐野市少年補導員会 視察研修	—	—	一人	新型コロナウイルス感染症 対策のため中止
街頭補導	通年	市内	一回	青少年の健全育成と非 行の未然防止を図るた めの巡回補導
青少年に関する悩みごと 相談	通年	少年指導 センター	一件	友達関係の悩み等、青少 年の相談に応じ、解決に 向けた教示を行う。

(3)相談事業の内訳(令和4年度)

(単位:人)

対象 内容	学 職															
	未就学		小学生		中学生		高校生		各種学生		大学生		有・無職少年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
不良交友																
不登校																
いやがらせ																
外泊																
交友関係																
精神不安定																
生活習慣																
生活態度					1										1	
学校生活																
その他						1										1
合計					1	1									1	1

※ 相談人数は、継続相談を含む。

(4)補導活動

ア 補導実施状況(令和4年度)

(単位:人)

区分 時間別	街頭補導(特別補導)実施状況			
	従事回数(回)	従事者数内訳		
		職員	少年補導員	計
午前	199(0)	199(0)	0(0)	199(0)
午後	158(6)	156(4)	93(14)	249(18)
夜間	31(0)	31(0)	72(0)	103(0)
合計	388(6)	386(4)	165(14)	551(18)

※()内の数は、特別補導を内数で示す。



VI 文化財保護

VI 文化財保護

1 文化財保護

郷土の歴史・文化・芸術などの文化遺産を引き継ぐとともに、市民が郷土の歴史・文化・芸術について学び、郷土について理解を深めるよう普及・啓発活動を展開し、歴史・文化・芸術を守り継承する地域づくりを推進します。

1 事業概要

(1)文化財保護審議会運営事業

佐野市文化財保護審議会委員 9名(令和5年3月31日現在)

令和4年度の開催状況

開催日	内容
令和4.7.12	・佐野市指定有形文化財の指定について(審議) ・佐野市市指定史跡の現状変更について(審議)
令和5.2.24	・佐野市指定史跡の現状変更の進捗について(報告) ・国指定史跡 唐沢山城跡本丸石垣積み直し工事の完了について(報告) ※防火査察及び防火演習は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2)文化財保護調査事業

ア 指定文化財等一覧表

(令和5年3月31日現在)

区分	有形文化財									無形文化財	民俗文化財		記念物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料		有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	
国指定	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
国認定	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
国登録	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
県指定	6	16	5	14	0	0	0	5	0	0	2	2	3	0	3	56
市指定	11	8	23	14	3	3	12	13	16	1	16	13	24	2	26	185
計	39	25	29	30	3	3	12	19	16	1	18	15	28	2	29	269

イ 国登録有形文化財

「唐澤山神社本殿」、「唐澤山神社拝殿」、「唐澤山神社中門祝詞屋及び透塀」、「唐澤山神社参拝門」、「唐澤山神社神楽殿」、「唐澤山神社神橋」の6件について現地調査を実施し、令和5年1月19日、文部科学大臣に意見具申を行いました。そして同年3月17日、文化審議会より文部科学大臣に文化財登録原簿へ登録するよう答申されました。

ウ 市で所管する指定文化財の維持・管理

佐野市指定史跡(赤見城跡・葛生人骨出土跡・石灰谷焼窯跡)、佐野市指定天然記念物(木浦原のザゼンソウ群落)の草刈清掃業務委託を行い、同天然記念物やその他の史跡等の除草・清掃を実施しています。

エ 普及啓発

文化財調査報告書「佐野市の文化財保護」の発行、ホームページの更新

(3)埋蔵文化財発掘調査事業

ア 開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地照会(令和4年度実績)

	照会件数	うち包蔵地該当件数
佐野地区	1,053	159
田沼地区	315	36
葛生地区	63	8
計	1,431	203

イ 開発行為に伴う埋蔵文化財の対応

令和4年度実績	工事立会 25 件、確認調査 3 件
---------	--------------------

(4)田中正造旧宅一般公開支援事業

ア 旧宅開館日並びに説明ボランティア活動状況(令和4年度実績)

開館日数	203 日
年間入場者数	861 人(うち有料入場者数 476 人)
入場者1日平均	4.2 人
ボランティア従事者人数	14 人

イ 補助金交付

田中正造旧宅を管理している(一財)小中農教倶楽部に対し、管理運営費補助金および入場料補助金を交付しています。

(5)唐沢山城跡保存整備事業

ア 石垣保存整備工事

令和3年度から繰越した、本丸西虎口に所在する石垣の積み直し工事を実施しています。



イ 保存整備調査指導委員会(委員 7 名、アドバイザー1 名)

史跡唐沢山城跡の保存整備(石垣の積み直し)の検討にあたり、各分野(考古、自然、文化財保護、史跡整備、城郭、石垣等)の専門家及び地元関係団体から指導や助言を受けるために委員会を開催しています。

【令和 4 年度実施状況】

期 日	場 所	内 容
令和 4.5.23(月)	唐沢山城跡・唐澤山神社南城館	第 1 回委員会
令和 4.8.1(月)	唐沢山城跡・佐野市役所	個別指導
令和 4.8.8(月)	唐沢山城跡・唐澤山神社南城館	第 2 回委員会
令和 4.11.17(木)	唐沢山城跡・唐澤山神社南城館	第 3 回委員会
令和 4.11.18(金)	唐沢山城跡	個別指導
令和 5.3.23(木)	唐沢山城跡・唐澤山神社南城館	個別指導

ウ 現状変更許可申請

史跡の現状変更許可申請に係る事務を行います。

【令和 4 年度実績】

申請日	申請者	現状変更の内容
令和 4.4.1(金)	宗教法人唐澤山神社	生活道路の修繕
令和 4.8.19(金)	佐野市	石垣積み直し工事
令和 4.12.21(水)	佐野市	遊歩道改修工事

エ 史跡の維持管理

史跡内の山麓主要箇所(栃本側の根小屋地区)の除草作業を、業務委託により実施します。

オ 保存整備事業講演会

多くの方に史跡唐沢山城跡への関心と理解を深めていただくために、平成27年度から毎年開催し、新型コロナウイルス感染症対策による中止を挟みながら実施しています。

カ 史跡唐沢山城跡保存会の活動支援

史跡唐沢山城跡保存会(会員数 38 名 令和 5 年 3 月 31 日現在)の活動を支援しています。

(ア)攻略ガイドツアー

唐沢山城跡への訪問者に対し、史跡唐沢山城跡保存会の会員が案内役となり、城跡の山頂主要部を巡るガイドツアーを実施しています。



【令和4年度実施状況】

実施日	参加会員数	参加者数
令和4.11.20(日)	9	27
令和4.11.27(日)	6	51
令和4.12.4(日)	8	24
合計	23	102

(イ)史跡案内(個別依頼)

攻略ガイドツアーとは別途に、団体等からの唐沢山城跡のガイド依頼に対して、史跡唐沢山城跡保存会の会員が案内役となり史跡案内活動を実施しています。

【令和4年度実施状況】

実施日	参加会員数	参加者数	学校名
令和4.6.5(日)	3	21	栃本地区公民館
令和4.7.17(日)	2	5	個人グループ
令和4.10.15(土)	8	80	呑龍幼稚園・鏡餅保育園
令和5.1.16(月)	9	35	佐野市立北中学校
令和5.1.23(月)	9	35	佐野市立北中学校
令和5.1.31(火)	10	34	佐野市立北中学校
合計	41	210	

(ウ)史跡の維持管理

史跡唐沢山城跡保存会の会員が中心となり、史跡内の主要箇所の除草等を春季・秋季に実施しています。

(6)全国史跡整備市町村協議会参画事業

令和元年度より、史跡名勝、天然記念物及び重要文化的景観を有する市町村をもって組織される全国史跡整備市町村協議会及び関東地方における下部組織である全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会に加盟しています。

令和4年度は、第57回全国史跡整備市町村協議会大会が10月に岩手県平泉町で開催されました。

また、全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会総会は、7月に埼玉県寄居町で開催されました。

(7)天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業

天命鋳物伝承保存会が取り組んでいる県指定有形民俗文化財「佐野天明鋳物生産用具 附製品、文書」の国指定化を目指す資料の記録化は令和3年度に概ね終了しました。

令和4年度は追加調査として県指定を受けていない天明鋳物生産用具について記録化支援を行い、併せて疑義対応や指導を行いました。

また、令和4年10月には文化庁調査官による現地指導を受けました。

(8)指定文化財保存修復支援事業

ア 指定文化財の保存修復を行う所有者に対し、市が補助金を交付する事業です。

【令和4年度実績】

指定区分	文化財名	期 間	内 容
国登録有形文化財 (建造物)	太田家住宅 中蔵	令和 4.9.23 ~令和4.10.31	当該文化財の土壁と瓦が崩落したため、現状復旧工事を行い、欠損箇所の修繕を行いました。

イ その他(とちぎ環境・みどり推進機構の名木・古木松くい虫防除事業)

指定文化財の保存修復支援事業の一環として、とちぎ環境・みどり推進機構による名木・古木松くい虫防除事業を利用しています。

【令和4年度実績】

指定区分	文化財名	実施日	内 容
市指定天然記念物	永台寺のクロマツ	令和 4.6.14	樹木の保全のため、松くい虫による被害を防ぐための薬剤散布を行いました。

(9)佐野市遺跡地図作成事業

佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲について、令和4年度から現地踏査を実施し、令和7年度に遺跡地図を作成・発刊します。

令和4年度は旧田沼町域の現地踏査を実施しました。

2 事業計画

事業名	内 容
佐野市遺跡地図作成事業費	佐野市域内の埋蔵文化財包蔵地の範囲について、現地踏査・確認を行い、市域全体をカバーする遺跡地図を作成します。
唐沢山城跡保存整備事業	郷土が誇る歴史的文化遺産である唐沢山城跡は、平成26年3月、国指定史跡になり、適切な保存管理が求められるとともに、歴史・文化を活かしたまちづくりに活用していくために、保存整備事業を推進します。「唐沢山城跡保存活用計画」や「同整備基本計画」に基づき、端緒として本丸周辺における石垣の保存対策等を実施します。
天明鋳物生産用具国指定推進事業	天明鋳物生産用具の国指定重要有形民俗文化財への指定に向けた資料の記録化が概ね終了したため、文化庁への諮問手続きを行います。 また、生産用具を適切に保存するために、一時的に栃木県立博物館に生産用具を移設します。
文化財保護審議会運営事業	佐野市文化財保護審議会は、教育委員会からの諮問を受けて、文化財の保存・活用に関する重要事項について、調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議する諮問機関です。文化財の指定、保護及び活用等に関して調査審議を行います。

文化財保護調査事業	指定文化財等に対する維持管理及び指導・啓発を行い、適切な保存・保護をします。また、埋蔵文化財包蔵地における試掘・確認・発掘調査を行います。
指定文化財保存修復支援事業	破損や劣化した指定文化財の修理修復、保護増殖等をする経費の一部を補助し、文化財の適切な保存保護を図ります。
田中正造旧宅一般公開支援事業	県指定史跡である旧宅を保存し、田中正造の偉業を後世に伝えるため、旧宅の一般公開及び管理運営を行う(一財)小中農教倶楽部に管理運営費及び入場料の無料化枠拡大による減収分に対して助成を行います。
全国史跡整備市町村協議会参画事業	全国史跡整備市町村協議会及び全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会に参画することで、加盟する全国の市町村と情報交換を行い、史跡整備や活用に関する最新の情報や動向を収集・把握し、史跡唐沢山城跡の保存整備及び活用に役立てます。

3 文化財保護体制と団体の育成

団体名	活動内容
佐野市文化財保護審議会	文化財の指定、保護及び活用に関して、調査審議し教育委員会に建議します。
田中正造旧宅説明ボランティアの会	旧宅見学者に対し田中正造の偉業を説明し、旧宅の解説を行う団体です。
史跡唐沢山城跡保存会	国指定史跡唐沢山城跡の価値や魅力を多くの方に理解していただくために、同城跡の案内や環境維持等の自主的な活動を行うことを目的とする団体です。

2 文化財関連施設

1 郷土博物館

佐野市を中心とする地域の考古・歴史・民俗・自然科学・郷土芸能等に関する資料を収集・保管・調査・研究及び展示を行い、教育的配慮のもとに市民一般の利用に供し、もって市民文化の向上発展に寄与するとともに、広く佐野の歴史と文化に対する知識と理解を深め、市民の愛郷心の育成に資することを目的とし、各種活動の推進を図ります。



施設概要

所在地	栃木県佐野市大橋町 2047 番地 敷地面積 7,470 m ² 建物面積 1,816 m ² 建物構造 鉄筋コンクリート造	
展示内容	「佐野の歴史－原始から近現代へ－」を展示テーマとする常設展示は、田中正造展示室、展示ホール(佐野の源流をたずねて)、常設展示室A(古代から近世へ)、常設展示室B(近代のあゆみ)の4室から構成されています。なお、田中正造展示室には、足尾鉍毒問題の解決に一生をささげた郷土の偉人田中正造に関する貴重な資料を展示し、翁の顕彰に努めています。	
利用案内	【開館時間】	午前9時から午後5時まで
	【休館日】	毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館) 祝日の翌日(祝日の翌日が土・日曜の場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日) 館内整理日(毎月の末日)、特別整理期間
	【入館料】	無料(ただし、企画展開催中は有料)

(1)郷土博物館協議会

ア 協議会の構成 (10人)

選任区分	選任区分
小学校長会代表	文化協会代表
中学校長会代表	小中義務教育学校PTA連絡協議会代表
高等学校長代表	栃木県家庭教育オピニオンリーダー 連合会佐野支部代表
社会教育委員代表	学識経験者
文化財保護審議会代表	学識経験者

イ 令和4年度協議会開催実績

期日	審議内容
令和4.10.27	令和4年度上半期事業の報告、令和4年度下半期事業計画について
令和5.3.28	令和4年度下半期事業の報告、令和5年度事業計画について

(2)令和4年度利用状況

単位:人、日

月	個人	団体		合計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
4	736	4	31	767	30	26
5	513	7	161	674	27	25
6	881	34	991	1,872	75	25
7	792	4	55	847	39	22
8	1,242	10	70	1,312	52	25
9	855	5	62	917	35	26
10	1,478	19	532	2,010	74	27
11	635	19	642	1,277	56	23
12	580	3	67	647	27	24
1	1,121	18	632	1,753	73	24
2	1,019	17	522	1,541	70	22
3	710	3	43	753	30	25
合計	10,562	143	3,808	14,370	49	294

(3)展示

ア 常設展

佐野市の自然・風土の中で祖先が築いてきた歴史と文化の姿を、市民が目で見ながら理解できるように、考古・歴史・民俗資料等をわかりやすく効果的に展示・解説しています。

展示室	展示内容	展示資料数 (パネル等含)
田中正造展示室	田中正造の歩いた道 (近現代)	147
展示ホール	佐野の歴史－原始から近現代へ－ (原始)	65
常設展示室	// (古代)	36
	// (中世)	49
	// (近世)	59
	// (近現代)	88
	// (民俗)	58
合計		502

イ 企画展等

[]=開催日数、()=1日平均

展示会名	期間	入館者数	内容
第75回企画展 「佐野の近代化と 田中正造」	令和4.4.29(金) ～6.19(日) [44日間]	1,840人 (42人)	明治時代の産業黎明期に情熱を注いだ先人の努力と、それを支援した田中正造に関する様々な近代化の資料を紹介しました。
栃木県立博物館地域移動博物館「貝づくし!～美しい貝、美味しい貝、とちぎの貝～」	令和4.7.30(土) ～9.4(日) [31日間]	1,704人 (55人)	夏休みに合わせて、栃木県立博物館所蔵資料の中から、貝の実物標本やパネルなどを展示しました。
第76回企画展 「古代三義山周辺の生産遺跡と役所・寺院」	令和4.9.23(金) ～11.23(水) [53日間]	3,191人 (60人)	三義山周辺で調査した生産遺跡や役所・寺院を紹介するとともに、遺跡から推定される渡来系の人々の影響についても紹介しました。

ウ 小展示会

[]=開催日数、()=1日平均

展示会名	期間	入館者数	内容
収蔵資料展 「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～」	令和5.1.4(水) ～2.23(木) [44日間]	3,237人 (74人)	当館収蔵資料の中から、小学3年生の学習内容に合わせて、昔使われていた懐かしい民具を展示しました。

(4)教育普及活動

ア 記念講演会

期 日	テ ー マ	参加者	内 容
令和 4.5.21(土)	野州石灰の近代化	32 人	企画展の開催に合わせて、野州石灰の近代化について、栃木県文化財課長 山本訓志氏による講演会を開催しました。
令和 4.9.24(土)	古代東国と朝鮮半島、そして下野	56 人	企画展の開催に合わせて、日本と朝鮮半島の考古学の研究者である岡山理科大学 名誉教授 亀田修一氏による講演会を開催しました。

イ 関連講座

期 日	テ ー マ	参加者	内 容
令和 4.10.29(土)	① イドの沢窯跡の調査 ② 三叢山周辺の生産遺跡	41 人	企画展の開催に合わせて、関連講座を開催しました。 【講師】 ① 毛野考古学研究所 志村哲氏 ② 日本考古学協会員 津野仁氏
令和 4.11. 5(土)	下野大慈寺と三叢山麓窯跡群	47 人	企画展の開催に合わせて、関連講座を開催しました。 【講師】 高野山大学大学院研究生 池田敏宏氏

ウ 移動講座

期 日	講 座 名	受講者	内 容
令和 4.8.11(木)	溶かしてピカピカ☆貝殻づくり	12 人	栃木県立博物館地域移動博物館「貝づくし」のテーマにあわせて、県立博物館の南谷幸雄氏による体験講座を実施しました。

エ 講座

期 間	回数	講 座 名	受 講 者
6 月	4 回	古文書入門講座	58 人
6 月	1 回	佐野市の民話を楽しもう	15 人
7 月	1 回	立体きりおりがみ講座	12 人
8 月	1 回	まが玉を作ろう	13 人
9 月	1 回	田中正造に学ぶ(講座)	9 人
10 月～1 月	3 回	展示解説ボランティア養成講座	中止※
11 月～12 月	5 回	石材の印作り講座	52 人

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

オ 見学会

期 日	見 学 会 名	参 加 者
令和 4.10.20(木)	田中正造に学ぶ	9 人
令和 4.12. 7(水)	とちぎの狛犬めぐり	7 人

カ 学校教育での博物館利用（学校利用推進事業）

期 間	学 校 数(学 年)	学 習 内 容	人 数(ク ラ ス)
5 月～6 月	市内の 21 小学校および 義務教育学校（6 年生）	歴史学習	964 人 (38 クラス)
10 月～12 月	市内の 21 小学校および 義務教育学校（4 年生）	きょう土につくした 人々	870 人 (35 クラス)
1 月～2 月	市内の 21 小学校および 義務教育学校（3 年生）	くらしのうつりかわり	858 人 (35 クラス)

キ 学校教育での博物館利用（その他の学校利用）

期 間	学 校 名 等	学 習 内 容	人 数
5 月～2 月	佐野高等学校附属中学校 等他6団体	田中正造 他	1,358 人

(5)郷土博物館ボランティア

(ボランティア数 26 人 令和 5 年 3 月 31 日現在)

期 間 等	活 動 内 容	活 動 日 数	人 数(延 べ)
5 月～ 6 月 10 月～12 月 1 月～ 2 月	小学校および義務教育学校 3・4・6 年 生を対象に実施している学校利用推進 事業の際に展示解説や体験学習の補 助を行う予定でした。	中止※	—
4 月～ 3 月	研修会及び反省会	中止※	—

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(6) 収蔵資料

(単位:点)

区 分	令和4年度収蔵資料			資料総数		
	実物	模型	標本	実物	模型	標本
人文科学資料(原始)	0	0	0	321	2	0
〃 (古代)	14	0	0	996	2	0
〃 (中世)	0	0	0	363	3	0
〃 (近世)	0	0	0	1,637	2	0
〃 (近現代)	5,250	0	0	36,865	2	0
〃 (民俗)	0	0	0	2,943	7	6
自然科学資料(動物)	0	0	0	2	0	1
〃 (植物)	0	0	0	3	0	1
〃 (地学)	0	0	0	26	0	0
その他の資料	0	0	0	1,321	0	0
合 計	5,264	0	0	44,477	18	8

※寄託資料は含まない

(7) 年度別利用状況

年度	個人	団 体		合 計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
2	8,843	23	801	9,644	47	205
3	7,154	34	631	7,785	31	249
4	10,562	143	3,808	14,370	49	294
合計	26,559	200	5,240	31,799	43	748

2 郷土資料保存三好館

旧田沼町立三好小学校校舎(平成2年4月17日 文化財指定)を移転・整備し、町内から収集した貴重な郷土資料を保存・活用しています。



施設概要

所在地	栃木県佐野市岩崎町 1325 番地 1 敷地面積 1,370 m ² 建物面積 360 m ² 建物構造 木造平屋建	
展示内容	暮らしと民具、仕事と民具、交通・交易と民具、防災と民具の4部から構成されています。また、この施設は、明治44年に三好尋常高等小学校校舎として建てられたもので、明治期の学校建築、施設を知る上で貴重な建造物です。	
利用案内	【開館時間】	午前10時から午後3時まで
	【休館日】	第2日曜日及び第4日曜日を除く日
	【入館料】	無料

(1)展示資料

区分	資料名
暮らしと民具	あんか、行灯、石臼、杵、臼、桶、鉤つるし、角火鉢、硯台、箱枕、針箱、火のし、なおしがめ、木炭アイロン、湯タンポ他
仕事と民具	麻ひき道具、足踏脱穀機、糸巻き、うない鋤、おぶね、鋤、腰ひき、こやし舟、馬耕、吹子、振り馬鋤、振り棒、馬鋤他
防災と民具	消防ポンプ、鳶口
交通・交易と民具	鞍、背いた、荷車、びく



暮らしと民具



仕事と民具



防災と民具



交通・交易と民具

(2)施設の公開及び令和4年度利用状況

定時開館:毎月第2・第4日曜日

開館日数:24日 ※開館業務は三好地区町会長に委託

(単位:人)

月	個人		個人計	団体		団体計	合計	備考
	一般	小中学生		一般	小中学生			
4	7	3	10	0	0	0	10	
5	1	0	1	0	0	0	1	
6	6	0	6	0	0	0	6	
7	1	0	1	0	0	0	1	
8	2	0	2	0	0	0	2	
9	2	0	2	0	0	0	2	
10	7	2	9	0	0	0	9	
11	13	6	19	0	0	0	19	
12	0	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	
2	2	1	3	0	0	0	3	
3	0	0	0	0	0	0	0	
計	41	12	53	0	0	0	53	

(3)年度別利用状況

年度	個人		団体		合計	一日当り 入館者数	開館日数
	一般	小中学生	一般	小中学生			
2	37	5	0	0	42	2	17
3	47	3	0	0	50	3	20
4	41	12	0	0	53	2	24
合計	125	20	0	0	145	2	61

3 葛生化石館

佐野市を中心とする地域の自然科学に関する資料を収集・保管・調査・研究及び展示を行い、教育的配慮のもとに市民一般の利用に供し、もって市民文化の向上発展に寄与するとともに、広く佐野の歴史と文化に対する知識と理解を深め、市民の愛郷心の育成に資することを目的とし、各種活動の推進を図ります。



施設概要

所在地	栃木県佐野市葛生東1丁目11番15号 葛生文化センター 敷地面積 4,500 m ² 建物面積 2,342 m ² (化石館部分 778 m ²) 建物構造 鉄筋コンクリート造	
展示内容	佐野市には、石灰岩やチャートの地層が広く分布しています。「石灰岩と化石～古生代ペルム紀から現在の自然～」を展示テーマとする常設展示は、古生代ペルム紀、中生代、葛生層の世界と、全国の石灰岩と石灰を利用した鋳工業、鋳物の世界、佐野市周辺の地質、現在の自然の各展示スペースから構成されています。	
利用案内	【開館時間】	午前9時から午後5時まで
	【休館日】	毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館) 祝日の翌日(祝日の翌日が土・日曜の場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日) その他臨時休館あり
	【入館料】	無料



ニッポンサイ



ヤバオオツノジカ・ナウマンゾウ

(1)令和4年度利用状況

(単位:人、日)

月	個人	団体		合計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
4	1,105	3	34	1,139	44	26
5	1,540	5	71	1,611	67	24
6	711	3	19	730	35	21
7	1,585	6	82	1,667	76	22
8	2,266	21	257	2,523	101	25
9	1,713	9	136	1,849	74	25
10	1,560	5	51	1,611	62	26
11	947	3	47	994	52	19
12	866	6	105	971	40	24
1	913	1	11	924	44	21
2	1,191	11	270	1,461	66	22
3	996	8	130	1,126	43	26
合計	15,393	81	1,213	16,606	59	281

(2)展示

ア 常設展

展示室	展示内容	展示点数	
		資料	パネル等
常設展示室	古生代ペルム紀の世界	89	27
	中生代	24	8
	日本全国の石灰岩	105	11
	地質・鉱物	84	4
	新生代葛生層の世界	161	53
	現生の動物	43	2
合計		506	105

佐野市葛生石灰岩地域の化石を中心に、古生代から現在の生き物に至るまでの標本やパネルを配置し、市民が目で見えて、より深く理解できるように、わかりやすく効果的に展示します。

※新型コロナウイルス感染症対策のため手で触れる標本は休止します。

イ 企画展

展示会名	期 間	内 容
第17回 新着標本展	令和5.4.1(土) ～4.16(日) [計14日間]	令和3年度後半及び令和4年度前半に寄贈及び収集の標本を紹介展示します。
「ペルム紀という時代」展	令和5.7.15(土) ～11.23(木・祝) [計112日間]	古生代ペルム紀という史上最大の大量絶滅事件の起きた時代。絶滅の直前まで繁栄した、知られざる生き物たちを紹介します。
第18回 新着標本展	令和6.1.13(土) ～3.31(日) [計64日間]	令和4年度後半及び令和5年度前半に寄贈及び収集の標本を紹介展示します。

(3)教育普及活動

ア 講演会

期 日	講 座 名
令和5.10月	企画展関連講演会

イ 講座

期 日	講 座 名
令和5.5.14(日)	地質の日記念事業「化石とあそぼう」
令和5.7.26(水)	第1回化石採集教室
令和5.10.15(日)	化石の日記念事業「化石とまなぼう」
令和5.11.3(金・祝)	ジオウォーキング
令和5.11.23(木・祝)	第2回化石採集教室
令和6.3.20(水・祝)	第3回化石採集教室



企画展関連講演会

ウ 学校教育等での化石館利用

(ア)化石館見学

小中義務教育学校等において、実際に化石などの資料を見学し、郷土の地質や自然への理解を深めるとともに学習の効果を高めます。また、葛生地域産出の化石等を用いたミニ化石探し体験や石磨き体験を行うこともできます。

(イ)石灰岩の利用

葛生地域の石灰岩や鉱物資料を学習用に提供します。

(ウ)その他

小中義務教育学校、小学校放課後子ども教室等へ出張し、葛生地域産出の実物の化石を用いて授業等を行います。郷土の化石について学習するとともに、より身近に感じることにより自然科学への関心・理解を高めます。

エ 博物館実習等

・マイチャレンジ推進事業

地域の人との関わりを主とした小中義務教育学校生の社会体験活動を受け入れます。

・インターンシップ推進事業

産学官連携による人材育成を目的とした高校生の社会体験活動を受け入れます。

・博物館実習

博物館学芸員の資格取得のための学芸員養成課程に学ぶ大学生等を対象に博物館実習を実施します。

オ 連携事業

他団体が実施するイベントに協力し、出張化石館として各種体験を行います。また、近隣施設等と連携し各館を回るスタンプラリー等を実施します。

(4)葛生化石館ボランティア

ボランティア数 40人(令和5年4月1日現在)

【令和4年度実施状況】

開催時期	活動内容
通年	来館者への展示解説、講座補助、化石館事業補助、化石等の勉強会
3月	視察研修

※新型コロナウイルス感染症対策のため展示解説は中止した。



(5) 収蔵資料

区 分	本年度収蔵資料			資料総数		
	実物	模型	標本	実物	模型	標本
自然科学資料(地学)	17	0	0	1,619	2	17
〃 (動物)	0	0	0	69	0	86
人文科学資料(民俗)	0	0	0	330	0	0
その他	0	0	0	78	0	0
合 計	17	0	0	2,096	2	103

(6) 年度別利用状況

年度	個人	団 体		合 計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
元	16,580	66	1,429	18,009	74	245
2	8,638	25	407	9,045	44	207
3	11,431	29	356	11,787	50	236
4	15,393	81	1,213	16,606	59	281
合計	52,042	201	3,405	55,447	57	969

4 葛生伝承館

佐野市を中心とする地域の歴史・民俗・郷土芸能等に関する資料を収集・保管・調査・研究及び展示を行い、教育的配慮のもとに市民一般の利用に供し、もって市民文化の向上発展に寄与するとともに、広く佐野の歴史と文化に対する知識と理解を深め、市民の愛郷心の育成に資することを目的とし、各種活動の推進を図ります。



施設概要

所在地	栃木県佐野市葛生東1丁目11番26号 敷地面積 2,129 m ² 建物面積 465 m ² 建物構造 鉄筋コンクリート造	
展示内容	栃木県指定無形民俗文化財「牧歌舞伎」と、栃木県指定有形民俗文化財「吉澤人形頭」を展示する常設展示コーナーと、郷土芸能をテーマに年に4～5回展示の入れ替えを行う企画展コーナーから構成されています。	
利用案内	【開館時間】	午前9時から午後5時まで
	【休館日】	毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館) 祝日の翌日(祝日の翌日が土・日曜の場合は開館) 年末年始(12月29日～1月3日) 展示替期間
	【入館料】	無料



牧歌舞伎鎧『絵本太功記』



吉澤人形頭



牧歌舞伎衣裳『白波五人男』

(1)令和4年度利用状況

(単位:人、日)

月	個人	団体		合計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
4	356	1	13	369	23	16
5	697	4	60	757	30	25
6	282	1	5	287	17	17
7	413	1	19	432	22	20
8	487	8	118	605	24	25
9	327	3	48	375	17	22
10	611	2	18	629	31	20
11	337	0	0	337	15	22
12	269	2	44	313	13	24
1	248	1	11	259	15	17
2	568	10	244	812	41	20
3	627	9	127	754	29	26
合計	5,222	42	707	5,929	23	254

(2)展示

企画展

展示会名	期間	内容
雛人形展	令和5.4.1(土) ～4.6(木) 〔計5日間〕	佐野市の工芸品のひとつである雛人形を取り上げ、子どもに対する愛情とその思いにふれてもらいます。
節句の祝展	令和5.4.22(土) ～6.18(日) 〔計50日間〕	季節の変わり目に無病息災を願ってお祝いをする節句の日。節句に飾る人形や掛軸を取り上げ紹介します。
牧歌舞伎展	令和5.7.11(火) ～9.24(日) 〔計66日間〕	栃木県無形民俗文化財に指定されている牧歌舞伎の公演写真や衣裳を展示し、地域に伝わる文化財を紹介します。
佐野土鈴展	令和5.10.7(土) ～令和6.1.21(日) 〔計84日間〕	古くは素朴な楽器として縄文時代から作られていたという土鈴。栃木県伝統工芸品として指定されている佐野土鈴とその関連品を紹介します。
雛人形展	令和6.2.6(火) ～3.31(日) 〔計47日間〕	佐野市の工芸品のひとつである雛人形を取り上げ、子どもに対する愛情とその思いにふれてもらいます。

(3)教育普及活動

ア 講座

期 日	講 座 名	講 師
令和 5. 5. 5(金・祝)	こどもの日 民話語り	佐野ふるさと民話の会
令和 5. 8. 3(木)	びゅんびゅんゴマを作ろう	葛生伝承館職員
11 月中旬	羽子板を彩ってみよう	葛生伝承館職員
12 月中旬	万華鏡を作ろう	葛生伝承館職員

イ 学校教育での伝承館利用(見学)

小中義務教育学校等において地域に伝わる伝統芸能などの資料を見学し、郷土の歴史や文化への理解を深めるとともに、学習効果を高めます。

ウ 連携事業

他団体が実施するイベントへの協力や、近隣施設等と連携して各館を回るスタンプラリー等を実施します。

(4)収蔵資料

(単位:点)

区 分	本年度収蔵資料		資 料 総 数			
	実 物	模 型	実 物	模 型	映 像	写 真
牧 歌 舞 伎	0	0	137	11	18	31
吉 澤 人 形	0	0	306	4	0	0
羽 子 板	2	0	44	0	0	0
浮 世 絵	0	0	26	0	0	0
神 楽	0	0	69	0	0	0
雛 人 形	28	0	169	0	0	0
山 車	0	0	1	0	0	0
羽 鶴 小 唄	0	0	3	2	0	0
そ の 他	30	0	30	0	0	0
合 計	60	0	785	17	18	31

(5)年度別利用状況

年度	個 人	団 体		合 計	一日当り 入館者数	開館日数
		団体数	人数			
元	5,014	32	508	5,522	28	200
2	3,165	11	257	3,422	18	186
3	5,207	14	197	5,404	25	213
4	5,222	42	707	5,929	23	254
合計	18,608	99	1,669	20,277	24	853

3 文化財一覽(令和5年4月1日現在)

(1)国指定重要文化財

ア 絵画

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	絹本著色菜蟲譜	1巻	葛生東1-14-30 吉澤記念美術館	佐野市	H21.7.10

イ 彫刻

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	木造 エラスムス立像	1軀	上羽田町1242	龍江院	S25. 8.29

ウ 工芸品

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	鑄銅梅竹文透釣灯籠	1箇	富岡町305	引地山観音堂	S28. 3.31
2	甲冑金具 号避来矢	1括	富士町1409	唐澤山神社	S37. 6.21

エ 史跡

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	唐沢山城跡	1基	富士町 外	佐野市 外	H26.3.18

(2)国認定重要美術品

ア 建造物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	銅製鳥居 附 文書二通	1基	田沼町1404	一瓶塚稻荷神社	S20. 8. 4

イ 考古資料

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	板石塔婆	1基	堀米町1102	一向寺	S16. 4. 9

(3)国登録有形文化財

建造物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	日本キリスト教団佐野教会	1棟	金屋仲町2431	日本基督教団 佐野教会	H15.1.31
2	島田家住宅主屋	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
3	第一酒造酒蔵	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
4	第一酒造酒蔵事務所	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
5	第一酒造旧桶倉庫	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
6	第一酒造旧穀倉	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
7	第一酒造旧米穀蔵	1棟	田島町	個人所有	H28.11.29
8	旧土佐屋薬局店舗兼主屋	1棟	本町	個人所有	H29.10.27

9	旧土佐屋薬局座敷蔵・中蔵・奥蔵	1棟	本町	個人所有	H29.10.27
10	寺岡糸店店舗	1棟	天明町2702	合名会社 寺岡糸店	R1.12.5
11	寺岡糸店主屋	1棟	天明町2702	合名会社 寺岡糸店	R1.12.5
12	寺岡糸店文庫蔵	1棟	天明町2702	合名会社 寺岡糸店	R1.12.5
13	寺岡糸店石蔵	1棟	天明町2702	合名会社 寺岡糸店	R1.12.5
14	寺岡糸店大門	1基	天明町2702	合名会社 寺岡糸店	R1.12.5
15	太田家住宅見世蔵及び主屋	1棟	大和町	個人所有	R3.2.26
16	太田家住宅中蔵	1棟	大和町	個人所有	R3.2.26
17	太田家住宅西蔵	1棟	大和町	個人所有	R3.2.26
18	太田家住宅南蔵	1棟	大和町	個人所有	R3.2.26
19	太田家住宅八幡社	1棟	大和町	個人所有	R3.2.26
20	太田家住宅稲荷社	1棟	天明町	個人所有	R3.2.26
21	太田家住宅表門及び石塀	1基	大和町	個人所有	R3.2.26

(4) 県指定文化財

ア 有形文化財

(ア) 建造物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	東照宮本殿 附 建築図棟札及び保管箱	1棟	金井上町2233	惣宗寺	S57. 8.27
2	東照宮拝殿	1棟	金井上町2233	惣宗寺	S57. 8.27
3	東照宮透塀	1周	金井上町2233	惣宗寺	S57. 8.27
4	東照宮唐門	1棟	金井上町2233	惣宗寺	S57. 8.27
5	二柱神社社殿(本殿・幣殿・拝殿)	1棟	並木町167	二柱神社	H 1. 8.25
6	一瓶塚稲荷神社本殿	1棟	田沼町1404	一瓶塚稲荷神社	H 5. 2.19

(イ) 絵画

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	紙本淡彩 蝦夷真景絵巻	1巻	葛生西	個人所有	S38.11. 1
2	紙本著色 前後赤壁図	1双	葛生西	個人所有	S38.11. 1
3	紙本金地墨画 海浜富士図	1双	犬伏上町	個人所有	S38.11. 1
4	紙本墨画 雲洞読易山中読玄図	1双	葛生西	個人所有	S40. 1.26
5	紙本金地墨画 嵐山清水寺全景図	1双	犬伏上町	個人所有	S40. 1.26
6	絹本著色 酒折宮連歌図	2幅	石塚町	個人所有	S48. 1.30

7	絹本著色 足利忠綱宇治川先陣図	2幅	石塚町	個人所有	S48. 1.30
8	紙本著色 調馬図	1双	石塚町	個人所有	S48. 1.30
9	絹本著色 西園雅集図	1幅	犬伏上町	個人所有	S48.11.27
10	紙本墨画 松陰閑釣図	1幅	犬伏上町	個人所有	S50. 1.28
11	絹本著色 西園雅集図	1幅	富岡町	個人所有	S52. 7.29
12	麻布著色 楊柳観音図	1幅	金井上町2233	惣宗寺	S53. 1.31
13	絹本著色 聖宝僧正渡一條大路図	1幅	大橋町2047	佐野市	S53. 7. 7
14	絹本著色 柿本人麿神影	1幅	小中町1062	人丸神社	S61.10. 7
15	絹本著色 慈慧大師像	1幅	金井上町2233	惣宗寺	S61.10. 7
16	絹本著色 釈迦三尊像	3幅対	金井上町2233	惣宗寺	H 6. 1.28

(ウ) 彫刻

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	銅造 鏡延命地蔵菩薩半跏像 附眷属矜羯羅、制菴迦童子	3軀	七軒町2189	普門院	S34. 3.13
2	銅造 百観音菩薩像	100 軀	犬伏上町1892	台元寺	S37. 4. 3
3	木造 地蔵菩薩坐像	1軀	田沼町1703-1	田沼本町区	S46. 2.16
4	木造 薬師如来坐像	1軀	船越町	個人所有	S46. 2.16
5	木造 大日如来坐像	1軀	赤見町1148	西光院	H 3. 2.19

(エ) 工芸品

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	わきざし 銘 守勝	1口	富士町1409	唐澤山神社	S41. 3.18
2	常張釜	1口	村上町	個人所有	S46. 5.14
3	わきざし 銘 於野州佐野城下 武井 信正作之	1口	犬伏上町	個人所有	S52. 7.29
4	刀 銘 作陽幕下土細川正守	1口	植上町	個人所有	S53. 1.31
5	わきざし 銘 作陽幕下土細川正守	1口	富岡町	個人所有	S53. 6. 2
6	刀剣小道具縁頭	1組	船越町	個人所有	S53. 6. 2
7	刀 銘 野州佐埜住将應	1口	赤見町	個人所有	S54. 4.24
8	仙人図大小縁頭 銘 菊池政長作	1組	山菅町	個人所有	S55. 9.19
9	白根葵図 小柄	1本	田沼町	個人所有	S59. 6. 1
10	刀 銘 於野州烏山一雲斎邦直	1口	犬伏上町	個人所有	S59. 9. 7
11	曾我兄弟討入図鐔	1枚	富岡町	個人所有	S60. 5.31
12	熊に松柏図 小柄 銘 致道作	1本	田沼町	個人所有	S60. 5.31
13	竜仙人図鐔 銘 菊地政長	1枚	田沼町	個人所有	S60. 5.31
14	なぎなた 銘 作陽幕下土 細川正義	1口	富岡町	個人所有	H2.5.15

(オ) 考古資料

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	田中正造遺品	1点	大橋町2047	佐野市	S38. 6.18

2	田中正造墨跡	3幅	大橋町2047	佐野市	S38. 6.18
3	田中正造遺品	9点	大橋町2047	佐野市	S38. 6.18
4	田中正造墨跡	2幅	大橋町2047	佐野市	S38. 6.18
5	田中正造書簡	28通	大橋町2047	佐野市	S39. 1. 7

イ 有形民俗文化財

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	吉澤人形頭	93体	葛生東1-11-26	佐野市	H11. 8.17
2	佐野天明鑄物生産用具 附 製品、文書	生産用具 1336点 製品 34点 文書 83点	大祝町	個人所有	H23.3.30

ウ 無形民俗文化財

No.	名称	所在地	所有者等	指定等年月日
1	牧歌舞伎	牧町	牧歌舞伎保存会	S52. 7.29
2	鎧塚の宮比講神楽	鎧塚町	鎧塚宮比講神楽保存会	S62.12.22

エ 史跡

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	大柵塚古墳	1基	犬伏上町	個人所有	S32. 6.30
2	田中正造旧宅	-	小中町975-2	(一財)小中農教 倶楽部 外一名	S32. 6.30
3	米山古墳	1基	犬伏新町	個人所有	S33. 4.25

オ 天然記念物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	出流原弁天池	-	出流原町1117 外	財務省(佐野市) 外	S31. 1.23
2	船越薬師堂のヒイラギ	1本	船越町	薬師堂総代会	S46. 6.25
3	丸獄山神社のケヤキ	1本	多田町	丸獄山神社	S49. 8.20

(5)佐野市指定文化財

ア 有形文化財

(ア)建造物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	星宮神社銅造鳥居	1基	大蔵町2928	星宮神社	S33. 1.10
2	赤城神社銅造鳥居	1基	植下町430	赤城神社	S33. 1.10
3	安楽寺仁王門	1棟	並木町1185	安楽寺	S33. 2.12
4	民家	1棟	鎧塚町	個人所有	S33. 6.25
5	石灯籠	1基	久保町	個人所有	S34.12.24
6	永台寺仁王門及び仁王像	1棟	飛駒町2900	永台寺	S55. 4.30
7	東光寺中門	1棟	寺中町2337	東光寺	S60. 9.25
8	熊野神社本殿	1棟	石塚町1721	熊野神社	S61.12. 6

9	旧三好小学校校舎	1棟	岩崎町1325-1	佐野市	H 2. 4.17
10	一瓶塚稻荷神社幣殿・拝殿 及び西宮神社社殿	各1棟	田沼町1404	一瓶塚稻荷 神社	H 3. 2.14
11	惣宗寺山門	1棟	金井上町2233	惣宗寺	H30.2.15

(イ)絵画

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	絹本著色佐野昌綱画像	1幅	犬伏下町2285	大庵寺	S33. 6.25
2	絹本著色柿本人丸像	1幅	小中町1062	人丸神社	S41. 5.10
3	絹本著色安蘇馬車鉄道時代の 葛生駅周辺図	1面	大橋町2047	佐野市	S44. 7.25
4	水彩画熱海梅林図	1面	赤見町3229	市立赤見小学校	S45.12.18
5	水彩画麦打ち図	1面	出流原町628-1	市立赤見中学校	S45.12.18
6	紙本淡彩琴棋書画図	1幅	大橋町2047	佐野市	H1. 3.20
7	絹本著色佐野乃雪図	1幅	葛生西	個人所有	H 5. 2.12
8	天井絵雲龍花鳥図	156面	戸奈良町960	種徳院	H 9.10. 3

(ウ)彫刻

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	銅造阿弥陀如来坐像	1軀	大祝町2312	宝竜寺	S33. 1.10
2	銅造阿弥陀如来坐像	1軀	金井上町2237	観音寺	S33. 1.10
3	銅造地藏菩薩坐像	1軀	赤見町1148	西光院	S33. 1.10
4	木造金剛力士像	1対	並木町1185	安楽寺	S33. 2.12
5	木造阿弥陀如来坐像	1軀	犬伏下町2285	大庵寺	S33. 6.25
6	銅造薬師如来坐像	1軀	犬伏下町2285	大庵寺	S33. 6.25
7	神楽面	8面	小中町1062	人丸神社	S33.10. 1
8	銅造地藏菩薩立像 附 木彫像	1軀 附 1 軀	越名町406	金蔵院	S35. 4. 9
9	木造地藏菩薩立像	1軀	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
10	銅造阿弥陀如来立像	1軀	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
11	木造釈迦如来坐像	1軀	村上町788	竜泉寺	S37. 3.22
12	木造地藏菩薩坐像	1軀	村上町788	竜泉寺	S37. 3.22
13	木造地藏菩薩立像(立木地藏尊)	1基	仙波町1500-6	来迎寺	S37. 7.23
14	銅造大日如来坐像	1軀	植上町1774	大日堂	S39. 9.11
15	木造閻魔王坐像	1軀	上羽田町690	竜西院	S40. 9.10
16	銅造阿弥陀三尊像	3軀	上羽田町690	竜西院	S41. 9.12
17	木造阿弥陀如来坐像	1軀	栃本町	個人所有	S42. 6.28
18	銅造大日如来坐像	1軀	寺中町2273	慈眼院	S60. 9.25
19	銅造地藏菩薩立像	1軀	多田町1084-4	下多田自治会	H 2. 4.17
20	石造地藏菩薩立像	1軀	小見町630-1	飯玉町内会	H 3. 2.14
21	木造千手観世音菩薩坐像	1軀	戸室町625	千手院	H 4. 6.16

22	木造阿弥陀如来坐像	1軀	天明町2229	涅槃寺	H 5. 9.22
23	木造阿弥陀如来坐像	1軀	朝日町	個人所有	H 9. 7.22

(工)工芸品

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	銅鐘	1口	並木町1185	安楽寺	S33. 1.10
2	銅鐘	1口	金井上町2233	惣宗寺	S33. 1.10
3	銅鐘	1口	植野町1856	大聖院	S33. 1.10
4	銅鐘	1口	富士町350	泉心院	S33. 1.10
5	銅鐘	1口	赤見町1148	西光院	S33. 1.10
6	銅造半鐘	1口	久保町41	浄泉寺	S34.12.24
7	銅造鰐口	1口	馬門町1506	浅田神社	S35. 4. 9
8	銅造鰐口	1口	船津川町	個人所有	S37. 3.22
9	銅造内行花文鏡(天明鑄物鏡)	1面	富岡町305	引地山日向寺 観音堂	S60. 9.10
10	銅造鰐口	1口	白岩町329-1	宇都宮神社	H 3. 2.14
11	銅造半鐘	1口	飛駒町1227	大光寺如来堂	H11.3.30
12	神鈴	1点	植下町430	赤城神社	H20.9.25
13	波に卷子形兜 号龍綺	1頭	富士町1409	唐澤山神社	H24.7.27
14	陶壁「翔鶴」田村耕一作	1件	浅沼町508-5	佐野市	H30.2.15

(才)書跡

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	後陽成天皇宸翰額字	1面	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
2	顔氏家廟碑法帖	4帖	大橋町2047	佐野市	S37.10.10
3	徂徠茂卿の書	1面	田沼町	個人所有	S42. 6.28

(力)典籍

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	官刻孝義録	50巻	葛生東1-11-8	佐野市	S39. 2.21
2	醫談	2冊	田沼町	個人所有	H17. 1.24
3	脩身辯	3冊	小見町	個人所有	H17. 1.24

(キ)古文書

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	下野国絵図	1幅	船津川町	個人所有	S41.12.14
2	佐野家系図	1本	栃本町	個人所有	S42. 6.28
3	田沼家系図および年譜	各1本	田沼町1408	西林寺	S49. 3. 1
4	後柏原天皇の綸旨	1通	栃本町1470	本光寺	S49. 3. 1
5	小野寺家文書	32点	朝日町	個人所有	H 2. 7.26
6	福地家文書	24点	船津川町	個人所有	H 2. 7.26
7	佐野氏忠の判物	1通	栃本町1470	本光寺	H 4. 6.16
8	天徳寺宝衍の朱印状	1通	大橋町	個人所有	H 4. 6.16

9	島田家文書	9点	田島町	個人所有	H 6. 1.28
10	小島家文書	8点	金屋仲町	個人所有	H 6. 1.28
11	佐野家古図	1枚	田沼町	個人所有	H 24. 7.27
12	小曾戸家文書	13点	会沢町	個人所有	H 26. 7.29

(ク)考古資料

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	男子武人半身像埴輪	1個	大橋町2047	佐野市	S35. 4. 9
2	上羽田町出土板碑	1基	大橋町2047	佐野市	S37. 3.22
3	細頸壺形土器	2個	大橋町2047	佐野市	S37. 3.22
4	鬼面蓮華文燈瓦	1個	富岡町93	市立北中学校	S43.12.19
5	ハラ描文燈瓦	1個	富岡町93	市立北中学校	S43.12.19
6	押型文国分寺瓦	1個	富岡町93	市立北中学校	S43.12.19
7	石造宝篋印塔	1基	下彦間町999	安養寺	S49.12.20
8	願成寺出土板碑	3基	鉢木町15-5	願成寺	S50.6.30
9	石造宝篋印塔	2基	飛駒町193	薬師堂	H 9.10. 3
10	出流原遺跡出土弥生時代資料	1括	大橋町2047	佐野市	H16.12.22
11	八幡山古墳出土資料	1括	大橋町2047	佐野市	H16.12.22
12	青磁不遊環花生	1点	大橋町2047	佐野市	H20.9.25
13	上林遺跡出土旧石器時代資料	1括	大橋町2047	佐野市	H30.2.15

(ケ)歴史資料

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	紙本墨書念仏日記	2帖	犬伏下町2285	大庵寺	S33. 6.25
2	紙本著色灯籠献上図及び六角釣灯籠	1幅 1基	金吹町	個人所有	S34.10.21
3	菅神廟の碑	1基	天神町807	朝日森天満宮	S34.12.24
4	勅額及び下馬札	1面 1枚	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
5	中根東里学則版木	6枚	大橋町2047	佐野市	S37. 8.27
6	芭蕉あやめ塚句碑	1基	金屋下町12	県立佐野東高校	S37. 8.27
7	キリシタン禁制の高札	1枚	富岡町93	市立北中学校	S43.12.19
8	おしどり塚歌碑	1基	浅沼町249	浅沼八幡宮	S44.12.16
9	佐野城墟碑及び城郭図	1基 1幅	植下町	堀田佐野城址公園維持管理委員会	S48. 3.22
10	永代接待船供養塔	1基	西浦町416	竜谷寺	S49. 9.14
11	永代接待船供養塔	1基	鎧塚町230-1	星宮神社	S49. 9.14
12	蜀山人歌碑	1基	田沼町1404	一瓶塚稻荷神社	H6.2.21
13	石造宝篋印塔	1基	山越町345	密蔵院	H6.2.21
14	石造層塔光明真言供養塔	1基	下彦間町2031	正光寺	H6.2.21

15	石幢	1基	栃本町2348	本光寺	H7.3.20
16	石造佐野坂東観音巡礼開創供養塔	1基	吉水町925	種徳院	H11.3.30

イ 無形文化財

No.	名称	所在地	所有者等	指定等年月日
1	佐野雛人形	上台町	個人	H16.12.22

ウ 有形民俗文化財

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	竜吐水	1点	久保町41	浄泉寺	S34.12.24
2	額絵馬	1枚	並木町167	二柱神社	S35. 6.24
3	紙本著色十王の図	11幅	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
4	紙本著色釈迦八相の図	5幅	天明町2229	涅槃寺	S36. 5.27
5	寛政曆・天保曆・太陽曆	59冊	犬伏下町	個人所有	S44. 2.12
6	和算の額	1面	大蔵町2928	星宮神社	S51. 3.24
7	越名河岸の絵馬	1面	越名町1619	藤田神社	S63. 7.28
8	和算の額	1面	寺中町2337	東光寺	S63. 9.22
9	養蚕額	1面	小見町672	天満宮	H 4. 6.16
10	石造板碑型庚申塔	1基	下彦間町	須花竹の沢講中	H 4. 6.16
11	石造双体道祖神像	1躯	戸奈良町	上西原町内会	H6.2.21
12	水盤・大火鉢・茶釜	各1点	飛駒町2299 根古屋森林公園	佐野市	H7.3.20
13	地租改正図絵馬	1面	高萩町239	諏訪神社	H 8. 7.16
14	猩猩乱図絵馬	1面	長谷場町960	崇禅寺	H9.10.3
15	庚申縁起	1巻	飛駒町	個人所有	H11. 3.30
16	四文字額「奉納冠句合」	1面	戸室町627	鞍掛神社	H11. 3.30

エ 無形民俗文化財

No.	名称	所在地	所有者等	指定等年月日
1	芦畦の獅子舞	並木町	花岡町会	S33. 1.10
2	上羽田八幡神楽	上羽田町	八幡神楽保存会	S36.12. 2
3	下彦間獅子舞	下彦間町	宇都宮神社	S49. 3. 1
4	小中町人丸神楽	小中町	人丸神社敬神講	S50. 3.24
5	村上星宮神社神楽	村上町	村上星宮神社敬神講	S51.12.11
6	吉水榊神社太々神楽	吉水町	吉水榊神社神楽舞保存会	S53.12.12
7	奈良瀧小案神社神楽	奈良瀧町	奈良瀧小案神社神楽保存会	S59. 5. 1
8	富士宮比講神楽	富士町	富士宮比講	S60. 9.25
9	浅間山のおたきあげ	奈良瀧町	浅間山のおたきあげ保存会	S63. 9.22
10	越名舟唄	佐野市	越名舟唄保存会	S63.12.26
11	佐野鳶木遣り・纏振り・梯子乗り	佐野市	佐野鳶伝統文化保存会	S63.12.26
12	鍋沢の獅子舞	飛駒町	塩釜神社獅子舞保存会	H 2. 4.17
13	大門天満宮神楽	赤見町	大門天満宮敬神講	H 5. 4.27

オ 史跡

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	市の沢古墳群	13基	赤見町	個人所有	S33. 1.10
2	赤見城跡	1基	赤見町3572外	佐野市 外	S35.12. 2
3	佐野城跡	1基	若松町504	佐野市	S36. 6.27
4	椿田城跡	1基	船津川町	個人所有	S38.10. 1
5	伝佐野源左衛門常世の墓所	1区画	鉢木町15-5	願成寺	S39. 2.21
6	井伊家墓所	1区画	堀米町754	天応寺	S39. 5.10
7	石灰谷焼窯跡	-	山菅町	個人所有	S39. 7.15
8	藤原秀郷墳墓	1基	新吉水町254	唐澤山神社	S42. 6.28
9	阿曾沼城跡	1基	浅沼町294	浅沼八幡宮	S44.12.16
10	山崎尚志道人墓石	1基	大蔵町2975	興福寺	S46.12.16
11	秋山要助墓石	1基	大蔵町2975	興福寺	S46.12.16
12	清水城跡	1基	新吉水町739	興聖寺	S49. 3. 1
13	田沼家墓所	1区画	田沼町	西林寺	S49. 3. 1
14	自歎妙心墓塔	1基	西浦町416	竜谷寺	S49. 9.14
15	葛生人骨出土跡	1区画	山菅町	個人所有	S49.12.14
16	蓬山城跡	1基	作原町	個人所有	S49.12.20
17	遠原古墳	1基	閑馬町	個人所有	S49.12.20
18	惣宗寺田中正造墓所	1区画	金井上町2233	惣宗寺	S61.10.27
19	田中正造誕生地墓所	1区画	小中町963-1外	(一財)小中農教倶楽部	S61.10.27
20	手掘りの須花トンネル	-	下彦間町須花	個人所有	H 6. 2.21
21	天徳寺宝衍(佐野房綱)の墓所	1区画	山形町1178	報恩寺	H 9.10. 3
22	嘉多山七輪窯跡	1基	嘉多山町1790	佐野市	H12.11.29
23	赤尾清三郎の墓石	1基	吉水町1060	種徳院	H17. 1.24
24	田中正造終焉(しゅうえん)の家	-	下羽田町	個人所有	H25. 9.4

カ 名勝

No.	名称	所在地	所有者等	指定等年月日
1	人丸神社神苑	小中町1062	人丸神社	S35. 6.24
2	城山公園	若松町504	佐野市	S36. 6.27

キ 天然記念物

No.	名称	員数	所在地	所有者等	指定等年月日
1	光徳寺のコノテガシワ	1本	犬伏下町1962	光徳寺	S34.12.24
2	人丸神社湧泉池	-	小中町1062	人丸神社	S35. 6.24
3	秋山のシダレザクラ	1本	秋山町	個人所有	S37. 7.23
4	嘉多山のコノテガシワ叢林	50本	嘉多山町1790	佐野市	S37. 7.23
5	葛生小学校の大ケヤキ	2本	葛生西1-12-1	佐野市	S39. 2.21
6	石筍	1基	あくど町3084	佐野市	S39. 3.20

7	木浦原のザゼンソウ群落	-	秋山町	個人所有	S39. 7.15
8	出流原石灰山産出鹿類の化石	-	出流原町	個人所有	S40. 5.10
9	出流原石灰山産出トウヨウゾウの化石	-	大橋町2047	佐野市	S40. 5.10
10	出流原フズリナ及びウミユリ化石包含地	-	出流原町	個人所有	S41. 3.23
11	出原の大ツバキ	1本	秋山町	個人所有	S42. 2. 1
12	稲荷明神のイヌガヤ	-	戸奈良町	個人所有	S49. 3. 1
13	南光寺の大シロツバキ	1本	宮下町12	南光寺	S53. 6.21
14	東光寺のカヤ	1本	寺中町2337	東光寺	S60. 9.10
15	東光寺のコウヨウザン	1本	寺中町2337	東光寺	S60. 9.10
16	町谷町カタクリの群落	-	町谷町102-1外	佐野市	S62. 8.25
17	奈良淵町のトウキョウサンショウウオ	-	奈良淵町148外	奈良淵町会	S63. 4.22
18	岩嶽神社のスギ	1本	作原町261	岩嶽神社	H1. 3.20
19	熊野神社のカヤ	1本	船越町309	熊野神社	H1. 3.20
20	永台寺のクロマツ	1本	飛駒町2900	永台寺	H 7. 3.20
21	洞雲寺のツバキ	1本	船越町922	洞雲寺	H 7. 3.20
22	密蔵院入口のコノテガシワ	1本	山越町345	密蔵院	H 9.10. 3
23	閑馬丸山のカヤ	1本	閑馬町	個人所有	H11. 3.30
24	種徳院のシダレザクラ	2本	戸奈良町960	種徳院	H11. 3.30
25	万福寺のコノテガシワ	1本	中町209	万福寺	H26. 2.20
26	会沢町産出のサイ骨格化石	1件	葛生東1-11-15	佐野市	H30.2.15

教育要覧 2023

令和5年度 佐野市の教育

令和5年10月

編集・発行 佐野市教育委員会

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地

TEL 0283(20)3106 (教育総務課直通)

FAX 0283(20)3032

E-mail kyoiku@city.sano.lg.jp